

工事番号														(様式-1)					
工 事 名		令和7年度 市営住宅追分団地E棟 外壁・屋根改修工事														金抜き設計書			
施 工 箇 所		安曇野市 市営住宅追分団地																	
設 計 大 要									施 工 方 法					請 負					
■市営住宅追分団地E棟の外壁・屋根等の改修工事 ・外壁・屋根改修工事(外壁・屋根塗装、外部防水、クラック補修等) ・出入口段差解消スロープ 改修工事 ・鳥除けネット、鳥除けピン設置工事 ・網戸車交換工事 ほか									施 工 期 間					日間					
									契約年月日					令和 年 月 日					
									竣工予定年月日					令和 8 年 1 月 23 日					
									契約保証方法					金銭的保証					
									・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。 ・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、ℓ、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合を除きます。										

番号	名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	A 共通仮設費						
	準 備 費	┐					
	仮 設 物 費						
	電力用水光熱費						
	工 事 施 設 費						
	環 境 安 全 費	└───	式	1.0			
	機 械 器 具 費						
	屋外整理清掃費						
	その他 試験調査費等	┘					
	ii 積み上げ仮設						
	仮囲い	ガードフェンス程度 28基	基	28.0			
	キャストターゲット	W3000*H1800 片開き 6ヶ月	箇所	1.0			
	小計						
	計						

番号	名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	令和7年度 市営住宅追分団地E棟 外壁・屋根改修工事						
1	建築工事						
1-1	直接仮設費		式	1.0			
1-2	外部改修工事		式	1.0			
1-3	出入口段差解消スロープ改修工事		式	1.0			
1-4	鳥除けネット工事		式	1.0			
1-5	鳥除けピン設置工事		式	1.0			
1-6	網戸戸車交換工事		式	1.0			
1-7	排気用ペントキャップ防虫網取り換え工事		式	1.0			
1-8	洗浄便座取替工事		式	1.0			
1-9	雪止めバレーガード設置工事		式	1.0			
1-10	E棟西側出入口掲示板追加工事		式	1.0			
1-11	隔て板塗り替え工事		式	1.0			
1-12	ピット内換気工事		式	1.0			
	合 計						
2	電気工事						
2-1	軒天用通路灯設備更新工事		式	1.0			
2-2	地下ピット換気設備工事		式	1.0			
2-3	産廃処理費		式	1.0			
	合 計						

[illegible]

番号	名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
1-2-2	外壁塗装等工事						
E棟	外壁点検	外壁 軒裏 外観調査 (目視や打診による確認、計測、報告書共)	m ²	1196			
	外壁高圧洗浄	外壁 軒裏高圧ポンプ10～15Mpa程度	m ²	1196			
	ひび割れ部処理	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	m	261			
		0.2mm未満 シール工法 可とう性エポキシ樹脂	m	3.5			
	欠損部処理・発錆・鉄筋露出部処理・塗膜浮剥がれ	研り埋戻し モルタル塗り改修工法φ5*50	カ所	35.0			
	アクリルゴム系透湿型壁面防水化粧材	トップコート スーパーW 外壁・軒裏 JIS A 6021規格品 ローラー塗り 東面	m ²	63.7			
		トップコート スーパーW 外壁・軒裏 JIS A 6021規格品 ローラー塗り 北面	m ²	483			
		トップコート スーパーW 外壁・軒裏 JIS A 6021規格品 ローラー塗り 西面	m ²	63.7			
		トップコート スーパーW 外壁・軒裏 JIS A 6021規格品 ローラー塗り 南面	m ²	265			
		トップコート スーパーW 外壁・軒裏 JIS A 6021規格品 ローラー塗り 2F軒天	m ²	182			
		トップコート スーパーW 外壁・軒裏 JIS A 6021規格品 ローラー塗り 階段室壁	m ²	139			
	水性反応硬化形軒天専用仕上塗材	リシン吹き面 改修下地S P ローラー仕上げ 1F軒天+階段室天井	m ²	200			
	合成樹脂調合ペイント塗り	SOP A種 鋼製建具面	m ²	78.0			
	// 下地処理	RB種 全面下地処理(けれん・錆止めを含む)	m ²	78.0			
	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	階段室 蹴上・巾木下地処理含む	m ²	11.7			
	// 下地処理	下地調整RB種(モルタル面)	m ²	11.7			
	小 計						

番号	名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
1-3	出入口段差解消スロープ改修工事						
		既存撤去処分共 下地砕石島再利用					
	斫り工事	既存スロープRC斫り撤去 h=450	m3	4.6			
	根切	機械	m3	4.0			
	埋戻し	機械	m3	0.40			
	残土処分	場内敷きならし	m3	3.60			
	砕石地業(撤去分のみ)	基礎下t=50 再生材	m3	0.60			
	基礎コンクリート	24-N-18	m3	0.50			
	人力打設		式	1.0			
	型枠	曲面 普通型枠	m2	3.8			
	型枠運搬費		m2	3.8			
	鉄筋 D10		kg	43.1			
	鉄筋 D13		kg	28.2			
	差筋アンカー 外部	BD-10*450 壁	本	38.0			
	鉄筋加工	加工組立て	kg	105			
	鉄筋運搬費		kg	105			
	コンクリート同時圧搾		m2	1.5			
	面木	標準20mm程度	m	20.0			
	高防滑性エポキシ樹脂系塗リ床材仕上	ABC商会 セーフティコート 同等 割増在リ	m ²	10.4			
	法定福利費		式	1.0			
	産廃処理費						
	解体材積込 コンクリート塊 h=450 人力	再生処分	m3	4.6			
	解体材処分費 コンクリート塊 h=450	再生処分 2.3m3:2.3*1.5=3.45t	m3	4.6			

番号	名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
1-9	雪止めバレーガード設置工事						
E棟	バレーガード設置工事 北側	ドブメッキ 瓦棒用特注品 塗装色付け加工品 材工	ヶ所	137			
	法定福利費		式	1.0			
	計						
1-10	A棟西側出入口揭示板追加工事						
E棟	揭示板追加工事	壁掛け式屋内揭示板(押しピンタイプ) 60cm x 90cm x 厚み2.5cm	ヶ所	2.0			
1-11	隔て板塗り替え工事						
E棟	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	0.66*1.69 2面 E棟14ヶ所	m2	31.2			
	// 下地処理	下地調整RB種(ボード面)	m2	31.2			
	文字入れ施工手間(既存型紙利用)		式	1.0			
	計						
1-12	ピット内換気工事	ルフロ換気システム	式	1.0			別紙1

番号	名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	別紙1						
1-12	ピット内換気工事						
	換気ダクト工事						
	本体(ルフロ400本体(LFB-400DC-V))	ルフロ換気システム 風量(0Pa時)124~472m ³ /h	台	1.0			
	換気扇類 サイクル扇(速度調節器共)		台	1.0			
	フレキシブルダクト(吸気配管)	参考 日本住環境株式会社 テクフレックス 100DA I-TF100DA10	本	28.0			
	ニップル	参考 日本住環境株式会社 I-SNPL100	個	21.0			
	Y型チャンバーN	SK化研 クールタイトF法 同等 北南2段 雪止めアングル(クールタイトプライマー別途)	個	2.0			
	オリフィス ホワイト	参考 日本住環境株式会社 I-ORF-1-WH	個	10.0			
	吸 込 口	GV 面積 0.1m ² 以下	個	10.0			
	フレキシブルダクト(排気配管)	参考 日本住環境株式会 断熱ダクト150 I- DD150S05	本	1.0			
	排気フード 深型排気フード	参考 日本住環境株式会社 RH-150	個	1.0			
	ダクト附属品 ベントキャップ	吸気部材等	個	1.0			
	電源工事						
	建築工事						
	電源配線用コア抜き φ50		ヶ所	2.0			
	軽量間仕切壁下地 LGS W50 0.8m ²		式	1.0			
	防湿シート張り ジョイント気密テープ張り		式	1.0			
	ケイカル板t=12張り カラーベニス現し		式	1.0			
	AEP塗装		式	1.0			
	既設ガラリ 撤去・処分		式	1.0			
	新規アルミパネル取付 穴あけ加工共		式	1.0			
	周囲コーキング		式	1.0			
	照明設備 リチウムイオンバッテリーライト		台	10.0			
	換気設備 送風機100V φ200 ダクト共		台	2.0			
	ピット内清掃費		m ²	222			
	合 計						

番号	名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
2-2	地下ビット換気設備工事						
	引込開閉器盤	鋼製壁掛屋内型1窓用	台	1.0			
	腕金		式	1.0			
	EM電線	EM-IE 2, 0mm	式	4.0			
	600V架橋ホリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンケーブル	EM CE 2mm2 3C	式	10.0			
	600V架橋ホリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンケーブル	EM-CE 3, 5mm2-2C	式	6.0			
	厚鋼電線管溶融亜鉛めっき仕上げ	GP 22mm	式	3.0			
	エントランスキャップ	SK化研 クールタイトF法 同等 北南2段 雪止めアングル(クールタイトプライマー別途)	式	1.0			
	コンビネーションカップリング	GP 22mm-F24mm	式	1.0			
	硬質ビニル電線管	VE 22mm	式	2.0			
	電線管付属品		式	1.0			
	金属製可とう電線管	24mmビニル被覆付	式	2.0			
	ホ・ックスコネクタ	F24mm	式	1.0			
	PF管(2重管)		台	8.0			
	コンビネーションカップリング	PF 22mm-F24mm	台	2.0			
	ボックスコネクタ	PF 22mm	台	2.0			
	可とう電線管付属品		台	1.0			
	電線管支持材		台	1.0			
	ブルボックス 鋼板製 標準形(防水形・端子付)	SS200X 200X200 WP	台	1.0			
	ブルボックス支持材		台	1.0			
	換気扇結線費		台	1.0			
	高所作業車		日	1.0			
	電力会社申請手続費		式	1.0			
	換気扇リモコン						別紙1
	機械はつり	口径50m程度(壁)					別紙1
	//	口径50m程度(床)					別紙1
	小計						

位置図

令和7年度 市営住宅追分団地 E棟外壁・屋根改修工事



1:2,500

0 45 90 180 m

現 場 説 明 書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

1. 件名（工事名称）

令和7年度 市営住宅追分団地E棟 外壁・屋根改修工事

2. 工事場所： 安曇野市 市営住宅追分団地

6

3. 工事概要： 市営住宅追分団地E棟の外壁・屋根等の改修工事

- ・外壁・屋根改修工事（外壁・屋根塗装、外部防水、クラック補修等）
- ・出入口段差解消スロープ 改修工事
- ・鳥除けネット、鳥除けピン設置工事
- ・網戸戸車交換工事
- ・ピット内換気工事

4. 工期 契約日から 令和8年1月23日まで

5. 一般事項について

(1) 現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書（案）及び現場説明書（以下「設計図書等」という。）によるものとし、現場説明会は実施しない。

(2) 設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話（ただし、指定の問い合わせ先は除く。）等は一切認めない。

(3) 工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

(4) 工事費内訳書記載数量は参考数量とする。

6. 本工事における特記事項

(1) 工事用地等

本工事に必要な用地は、以下のとおり。

使用目的	使用場所・面積
資材置場	敷地内
駐車場	同上敷地
現場事務所	同上敷地

(2) 排水への対応

本工事施工に伴う排水は、沈殿処理・Ph 管理等の各法令を守り、自然環境等へ悪影響を及ぼすことのないよう適正に処理し、特に指示のある場合を除き近傍の公共用水域又は排水路等に排水する。また、排水路等は、常に適切な維持管理を行い、従前の機能を損なわないようにすること。ただし、周辺水路についての排水は、管理者と協議のうえ、同意を得ること。

(3) 工事着手前に事前のお知らせをおこなうこと。また看板等を設置して、工事内容の周知を行うこと。

(4) 夜間、早朝及び休日での施工を実施する場合は監理者・監督員と打合せを行い、監理者・監督員の承諾を得たのちに、必要な場合は近隣への事前通達のうえ施工すること。

(5) 周辺施設利用者及び周辺住民の安全に十分配慮すること。

(6) 住宅利用者の安全に十分配慮すること。また、E棟入居者に対して、工程連絡調整を随時おこなうこと。

(7) 各官公庁手続きについて、

事前に監督員・監理者が申請書類等の内容確認をしてから提出すること。

~~(8) 残土関係~~

~~・本工の施工において生じる発生土の処分については、下記の処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。~~

~~なお、受注者の都合による処分先の変更については、原則として設計変更しない。~~

~~・建設発生土~~

受入れ場所・仮置き場所	処分方法	運搬距離	特記事項

~~—— 距離指定の場合、残土運搬距離は設計変更の対象とする。——~~

(9) この工事は執務並行型の工事である。

(10) 本工事は、「週休2日工事实施要領」発注者指定型週休2日工事の対象である。

なお、週休2日の取組実績に応じて、単価の補正を行い、設計変更を行うものとする。

(工事発注時は4週8休（通期）を想定した設計単価で積算している)

7. 本工事に関連する別途発注工事の予定

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考

~~・本工事に近接・競合する工事の予定~~

発注機関				

~~・改修工事における工事個所の順番は図のとおり。~~

8. 安全対策関係

① 交通誘導警備員

受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第4条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。

② 安全施設

発注者が想定している仮設（ゲート、仮囲い等）については、仮設計画図に示したとおり。受注者は明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。（任意仮設）

なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予期することができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときは設計変更の対象とする。

9. 工事用道路関係

現場への工事関係車両の入退場の路線は事前に監督員と協議をすること。

10. その他

火災保険等への加入期間は、請負契約後から契約工期末日後14日までとする。

特記仕様書（共通事項）

総務部 財産管理課

1. 保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明事項・施工条件明示事項に定める保険に加入しなければならない。加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

2. 各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

(1) 公共事業労務費調査等

(2) 資材調査、建設副産物実態調査等

3. 工事検査

施工途中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

4. 被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

5. 工事实績情報サービス（CORINS）の登録について

(1) 請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事实績情報サービス（CORINS）の登録をすること。

(2) 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

① 工事受注時契約締結後10日以内

② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内

③ 工事完成時工事完成後10日以内

6. 施工体制台帳に係る書類について

(1) 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。

(2) 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。

(3) 次の業種についても請負契約に該当するため、(1)と同様とする。

- ・ 1日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約
- ・ クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合
- ・ クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

7. 主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

- ① 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）
- ② 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- ③ エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- ④ 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

8. 産業廃棄物等の取扱い

- (1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）をするときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。
- (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。
- (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積み込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、マニフェストA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

9. 再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」（ラージリサイクル法）に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。

※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス

10. 安全対策関係

- (1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。
- (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。
- (3) 足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きや

すい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

11. 環境対策関係

- (1)現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
- (2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートを選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。
- (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。
- (4)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

12. 過積載の禁止

- (1)工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。

- ①積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」という。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。
- ②過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。
- ③過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- ④資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輛及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輛からの資機材等の引き渡しを受けないこと。
- ⑤下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輛を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。
- ⑥飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。
- ⑦土砂等の運搬に関する事業者の選定に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。

- (2)以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

~~13. セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について~~

- ~~(1)セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。~~
- ~~(2)セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。~~
- ~~(3)六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壤環境基準を超えないことを確認する。~~

14. アスベスト建材使用箇所等の事前調査

- (1)石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、

図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報告を行う。

報告書の記載内容

- ① アスベスト材料の種別
- ② アスベスト形状、飛散可能性の有無
- ③ 製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率

なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。

- (2) 監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。

15. 建設業退職金制度について

- (1) 工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。
- (2) 工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。
- (3) 請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後1ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。

16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

- (1) 工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するよう努めること。
- (2) 工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。
- (3) 下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシャーラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

18. レディーミクストコンクリート製造工場の選定について

受注者は、I類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化法（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場）で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者（コ

ンクリート主任技士等）が置かれ、良好な品質管理が行われている工場（全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）から選定する。

ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議する。

19. 工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

添付書類

- ・ 工事記録（工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報）
- ・ 工事打合わせ記録簿（当月分）
- ・ 工事写真（工事の進捗状況がわかるものを数枚）

20. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲する。

21. 設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

22. 完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

- ① 完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用する
ことができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。
- ② 以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、
この限りではない。
 - イ. 完成写真を公表すること。
 - ロ. 完成写真を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡すること。

23. 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

24. 工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象に関する情報の通知について

落札者（随意契約の場合にあっては、契約の相手方）は、建設業法（昭和24年法律第100号第20条の2第2項に基づき、工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象が発生するおそれがあると認めるときは、落札決定（随意契約の場合にあっては、契約の相手方の決定）から請負契約を締結するまでに、契約を担当する者に対して、その旨を当該事業の状況の把握のため必要な情報を合わせて通知すること。

令和7年2月12日適用版

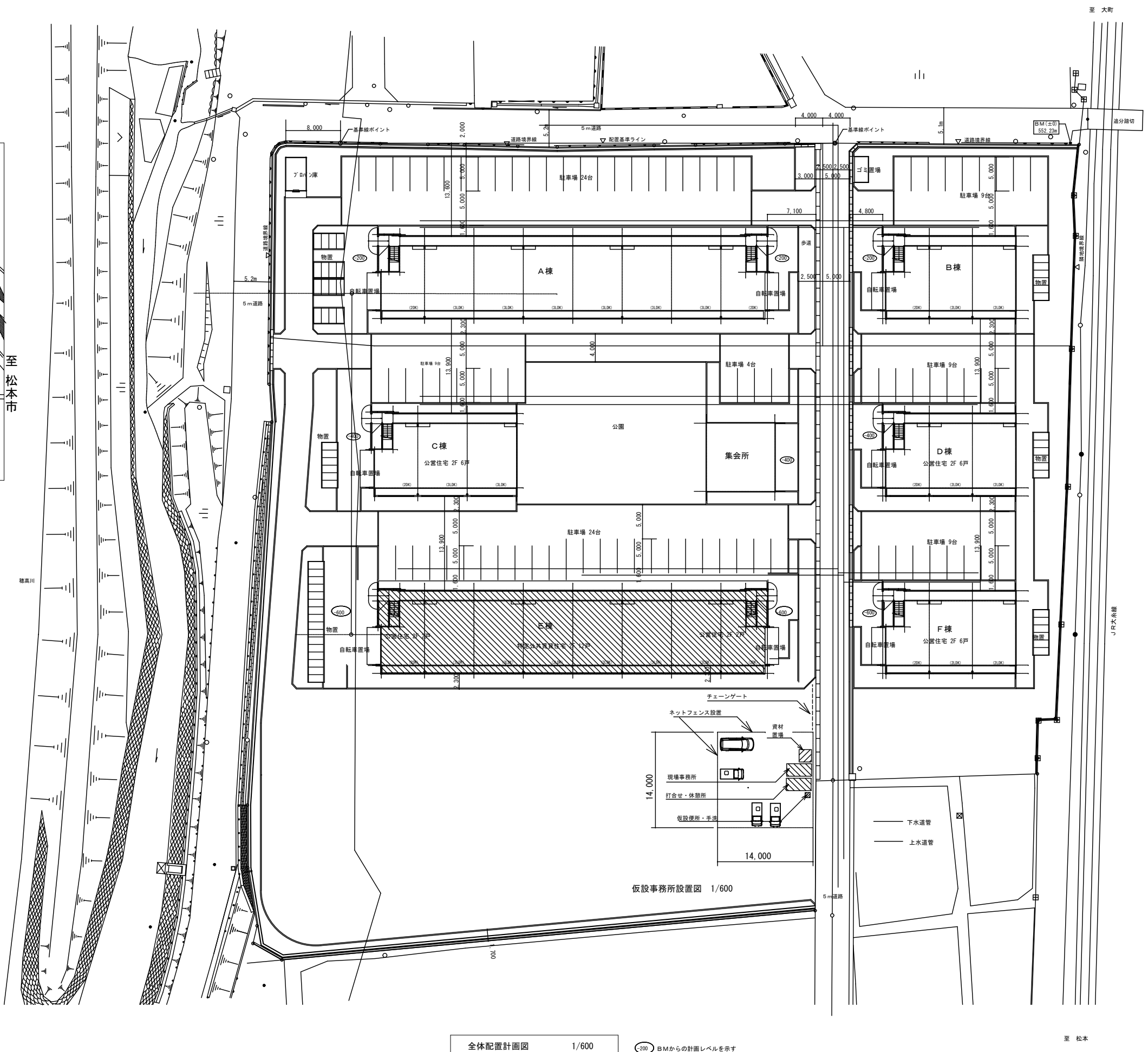
令和7年度

市営住宅追分団地E棟 外壁・屋根改修工事

(建築)

202505

[illegible]



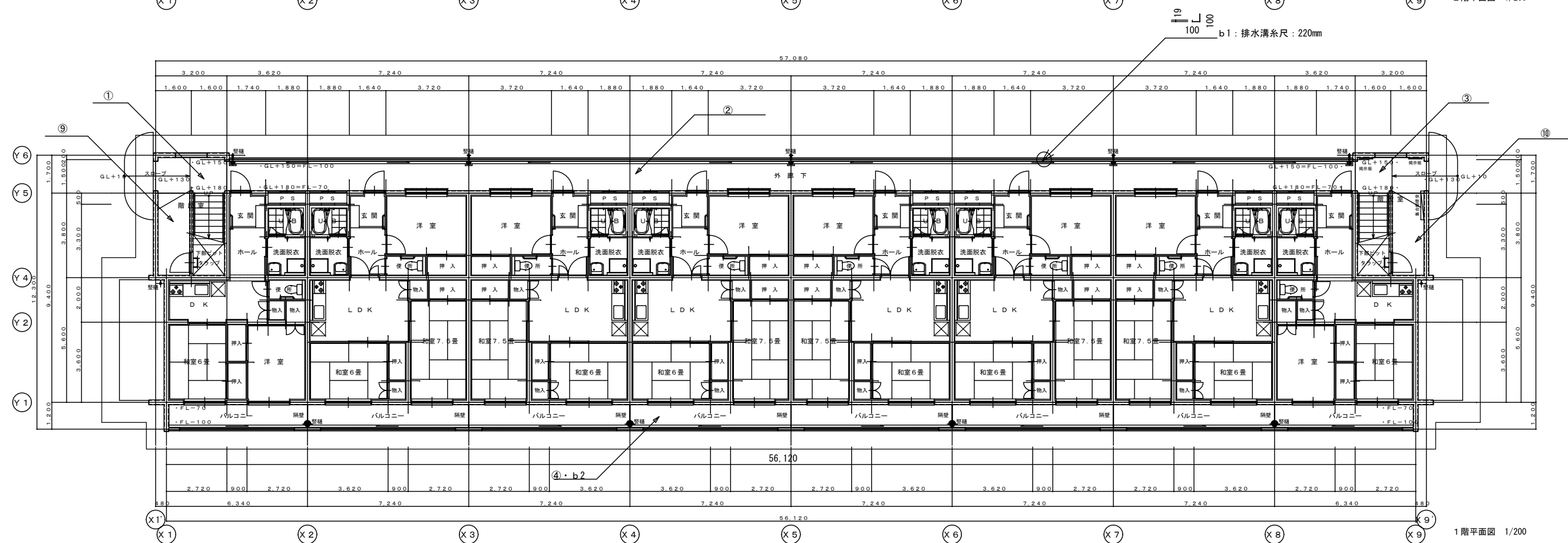
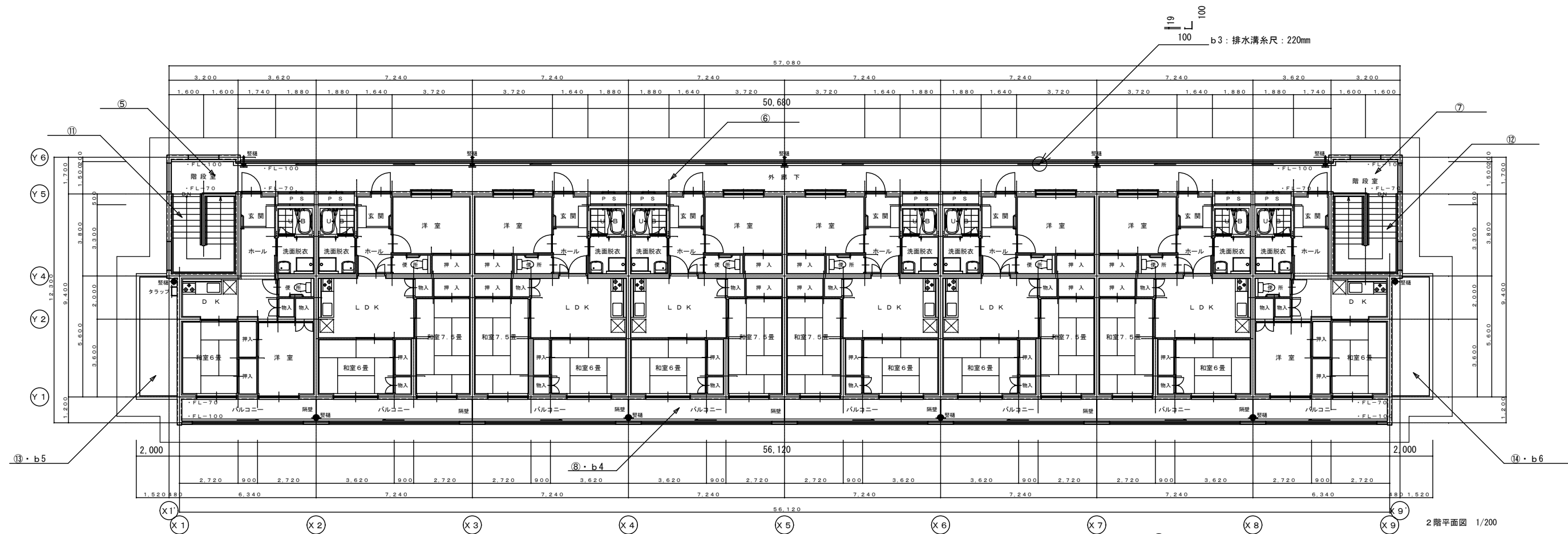
② BMからの計画レベルを示す

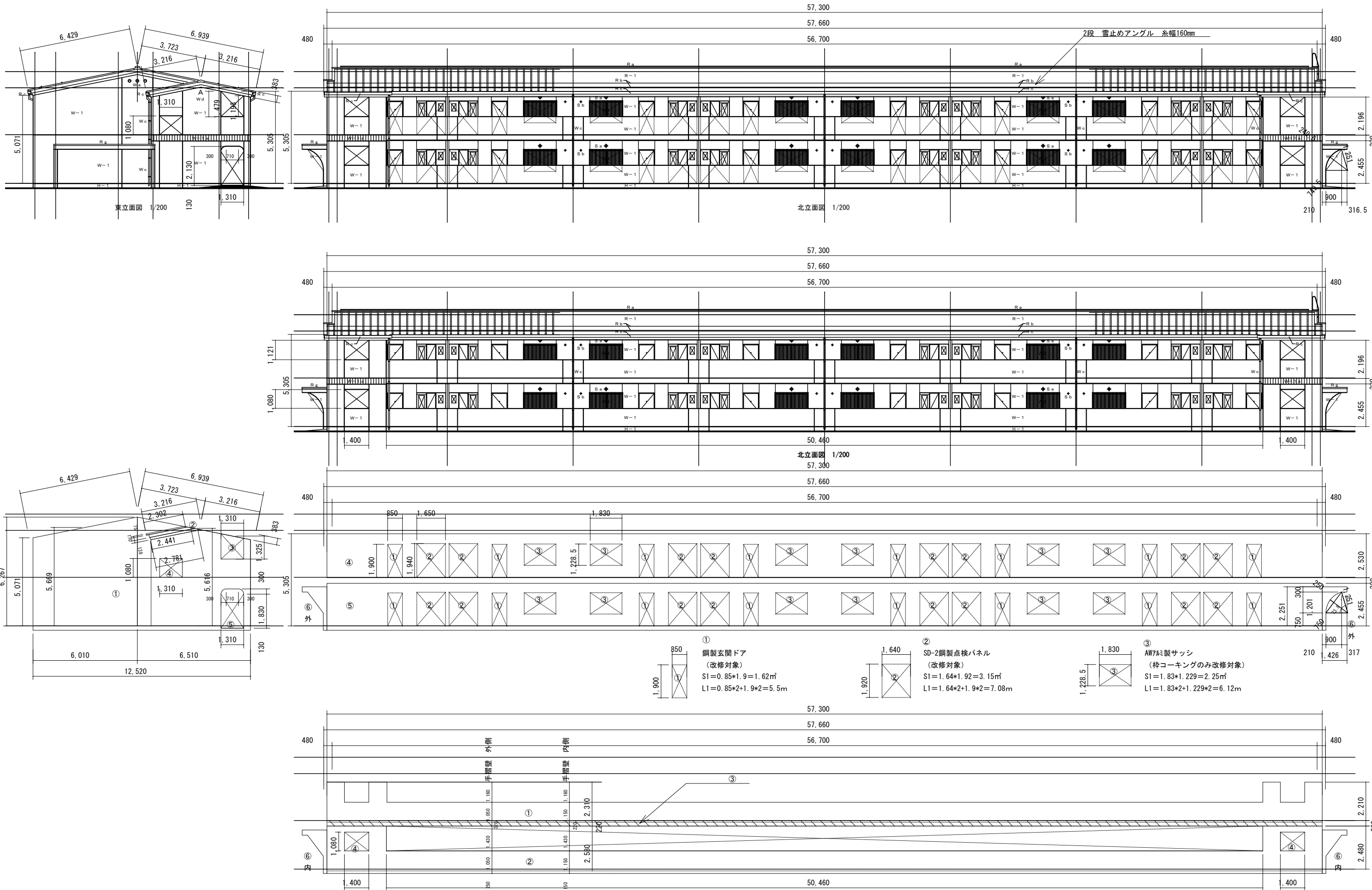
☐ DATA 20241109 ☐ SCALE 1/600 ☐ DW NO. A-06

改修外部仕上及び工事区分表

部 位	記 号	既存仕上	改修仕上（改修項目 参考・同等品）	備 考
基礎	H－6	見え掛かり：合板型枠コンクリート打放し		
外壁	W－1	合板型枠コンクリート打放し＋複層塗材 E 一部色替え	アクリルゴム系透湿型壁面防水化粧材 ローラー仕上	ハーバスHP-R工法同等
	W－1 a	一部：化粧目地切 同上材色替	一部：化粧目地切 同上材色替（現況参照）	
	W a	小屋裏換気孔：換気フード アルミ製 1 5 0 φ 防虫網付		
	W b	ステンレスタラップ		
	W c	堅 樋：ステンレス鋼管 7 6. 3 φ t = 2. 0 H L		
	W d	棟番号表示：ステンレス箱文字 h 3 0 0 × w 3 0 0 H L		
屋根	R－1	嵌合式 折版葺き 亜鉛・アルミ合金メッキ鋼板 t = 0. 6	低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料 ローラー仕上	クールタイトF法同等
		働き幅≒ 4 2 0 ～ 4 5 0、H≒ 5 3 ～ 6 6 裏面：ポリスチレンフォーム t = 4 張り		
	R a	棟換気システム	低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料 ローラー仕上	クールタイトF法同等
	R b	雪止アングル：5 0 × 5 0 × 6 溶融亜鉛メッキ + A S 塗装	耐候性フッ素樹脂塗料 ローラー仕上	クリーンマイルド・フッソST同等
	R c	軒 樋：耐酸被覆鋼板（既製品, W = 2 0 0 心材 t = 0. 4）	亜鉛めっき鋼面 SOP A種	
		樋受金物：ステンレス製上吊り型、既製品@ 4 2 0 ～ 4 5 0（屋根折版山毎）		
軒天井	C－1	合板型枠コンクリート打放し＋外装薄塗塗材 E	アクリルゴム系透湿型壁面防水化粧材 ローラー仕上	ハーバスHP-R工法同等
	S d	軒裏換気孔 アルミ 平型 ステンレスメッシュ φ 1 5 0	水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗材 SPローラー仕上	ノキフレッシュセラ同等
外 廊 下	床	防塵塗床 排水溝：塗膜防水 下地：防水モルタル金鍍 t = 3 0	高韌性環境対応型ウレタン塗膜防水	GOD-2V 密着工法 同等
	巾木	防塵塗床 下地：防水モルタル金鍍	高韌性環境対応型ウレタン塗膜防水	GOD-2V 密着工法 同等
	壁	複層塗材 E 下地：合板型枠コンクリート打放し	アクリルゴム系透湿型壁面防水化粧材 ローラー仕上	ハーバスHP-R工法同等
	天井	外装用薄塗塗材 E 下地：合板型枠コンクリート打放し	アクリルゴム系透湿型壁面防水化粧材 ローラー仕上	ハーバスHP-R工法同等
			水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗材 SPローラー仕上	ノキフレッシュセラ同等
	R d	鋳鉄製横引きドレイン 7 5 φ（塗膜防水用）		
	W d	アルミ面格子（B L 認定品）シルバー		
バルコニー	床	防塵塗床 排水溝：塗膜防水 下地：防水モルタル金鍍 t = 3 0	高韌性環境対応型ウレタン塗膜防水	GOD-2V 密着工法 同等
	巾木	防塵塗床 下地：防水モルタル金鍍	高韌性環境対応型ウレタン塗膜防水	GOD-2V 密着工法 同等
	壁	複層塗材 E 下地：合板型枠コンクリート打放し	アクリルゴム系透湿型壁面防水化粧材 ローラー仕上	ハーバスHP-R工法同等
	天井	外装用薄塗塗材 E 下地：合板型枠コンクリート打放し	アクリルゴム系透湿型壁面防水化粧材 ローラー仕上	
	R e	鋳鉄製中継ドレイン 7 5 φ（塗膜防水用）		
	B a	アルミ製手摺（B L 認定同等品）シルバー		
	B b	アルミ製自在物干金物		
	B c	アルミ枠隔壁（F B t = 5 + E P I 避難ステッカー貼り）		
	S a	換気レジスターφ 1 5 0		
	S b	エアコン用スリーブ（グラスウール充填・キャップ兼用型）		
	S c	F F用スリーブ（グラスウール充填・キャップ兼用型）		
	B d	非難ハッチ 6 0 0 角 ステンレス製 梯子内蔵型（B棟のみ）		
開口部（鉄部）	－	スチール玄関ドア（B L 認定品）	亜鉛めっき鋼面 SOP A種	
	－	アルミサッシ（B L 認定同等品）シルバー		
自転車置場	R－2	屋 根：コンクリート同時金ゴテ押え＋露出シート防水	高韌性環境対応型ウレタン塗膜防水	GOD-2V 密着工法 同等
	C－1	天 井：合板型枠コンクリート打放し＋外装薄塗塗材 E	天 井：アクリルゴム系透湿型壁面防水化粧材 ローラー仕上	ハーバスHP-R工法同等
	F－3	床 ：コンクリート同時金ゴテ押え		
	R f	鋳鉄製中継ドレイン 7 5 φ（シート防水用）		
	R g	アルミ既製防水押え笠木		
	R h	アルミ既製水切		
出入口 スロープ	－		高強度ウレタン塗膜防水 防滑仕上げ	ZHM-300工法粗面仕上同等
	－			

※ /改修工事対象外項目を示す





PR NAME 令和7年度
市営住宅追分団地E棟外壁・屋根改修工事



DW NAME 立面・断面図（工事施工範囲図）1



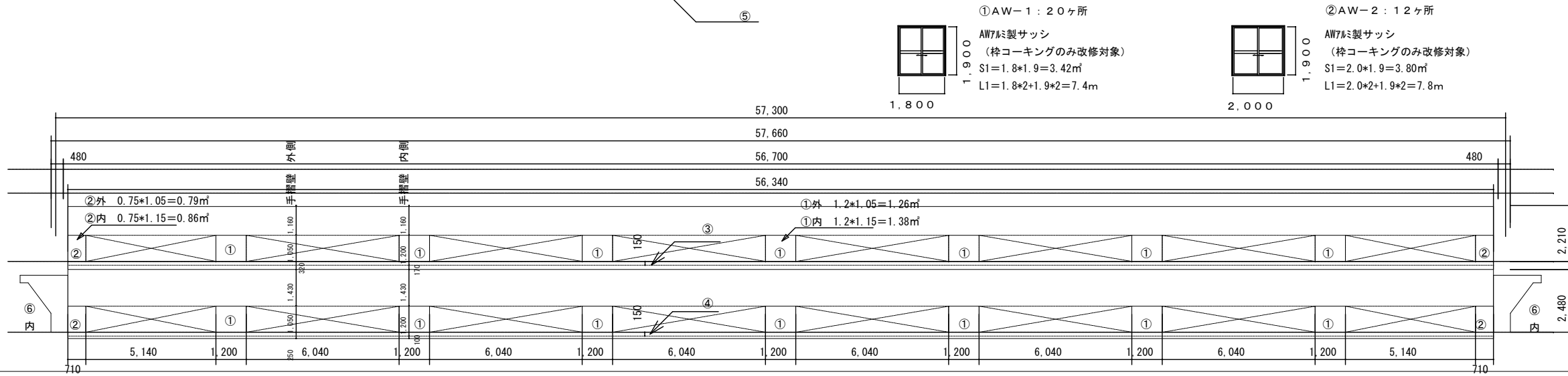
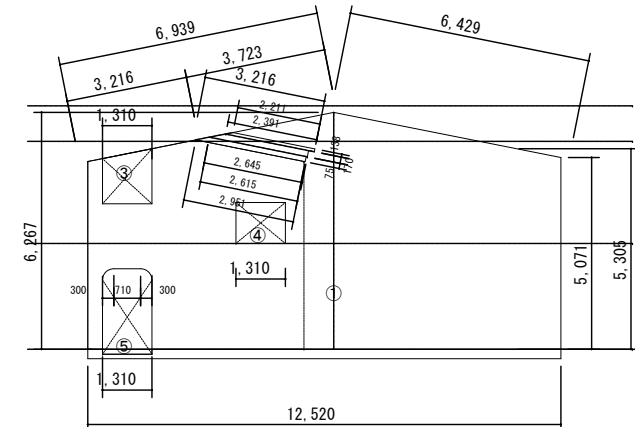
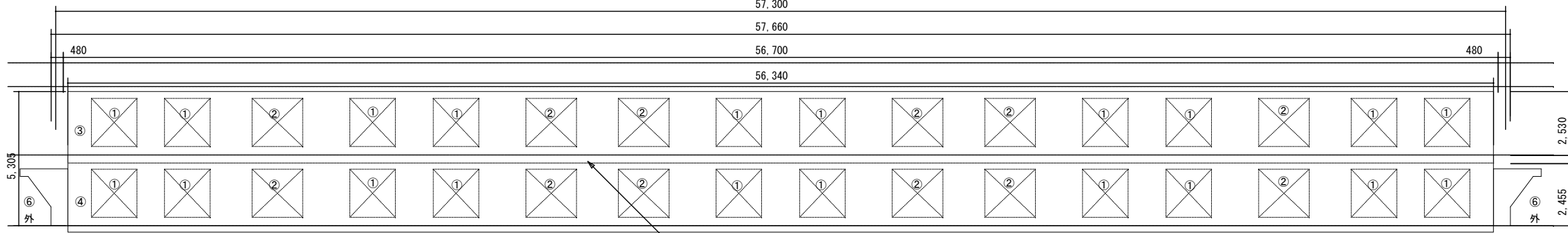
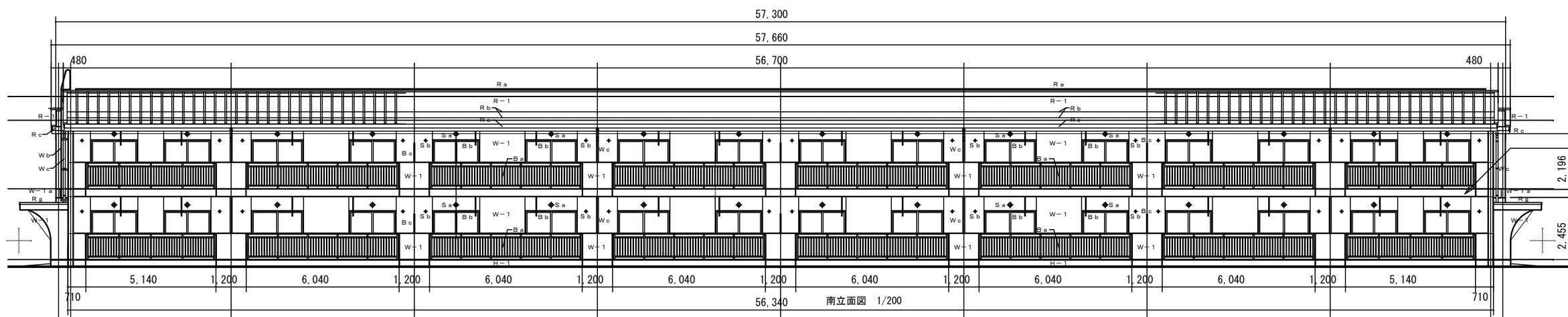
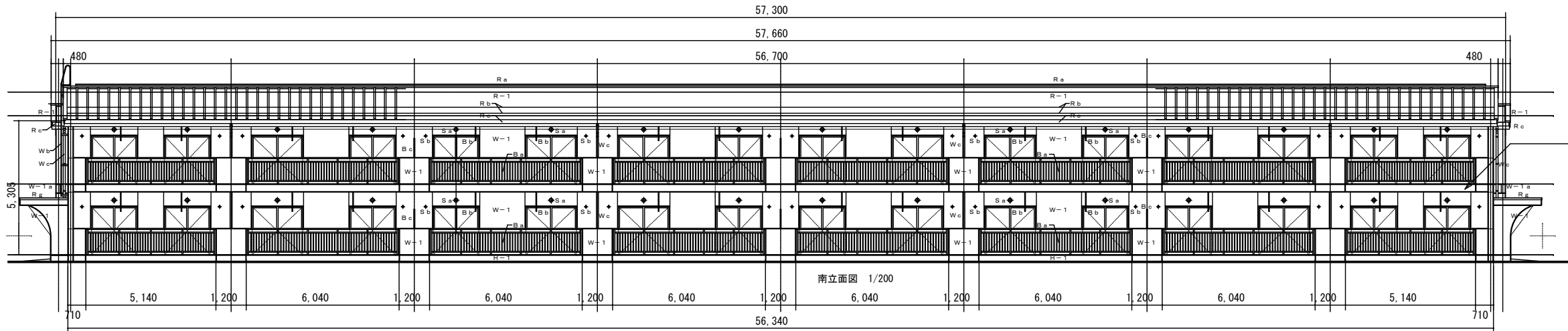
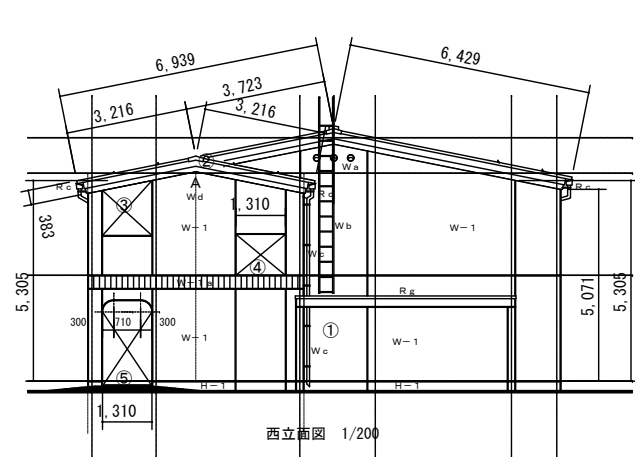
DATA 20241109

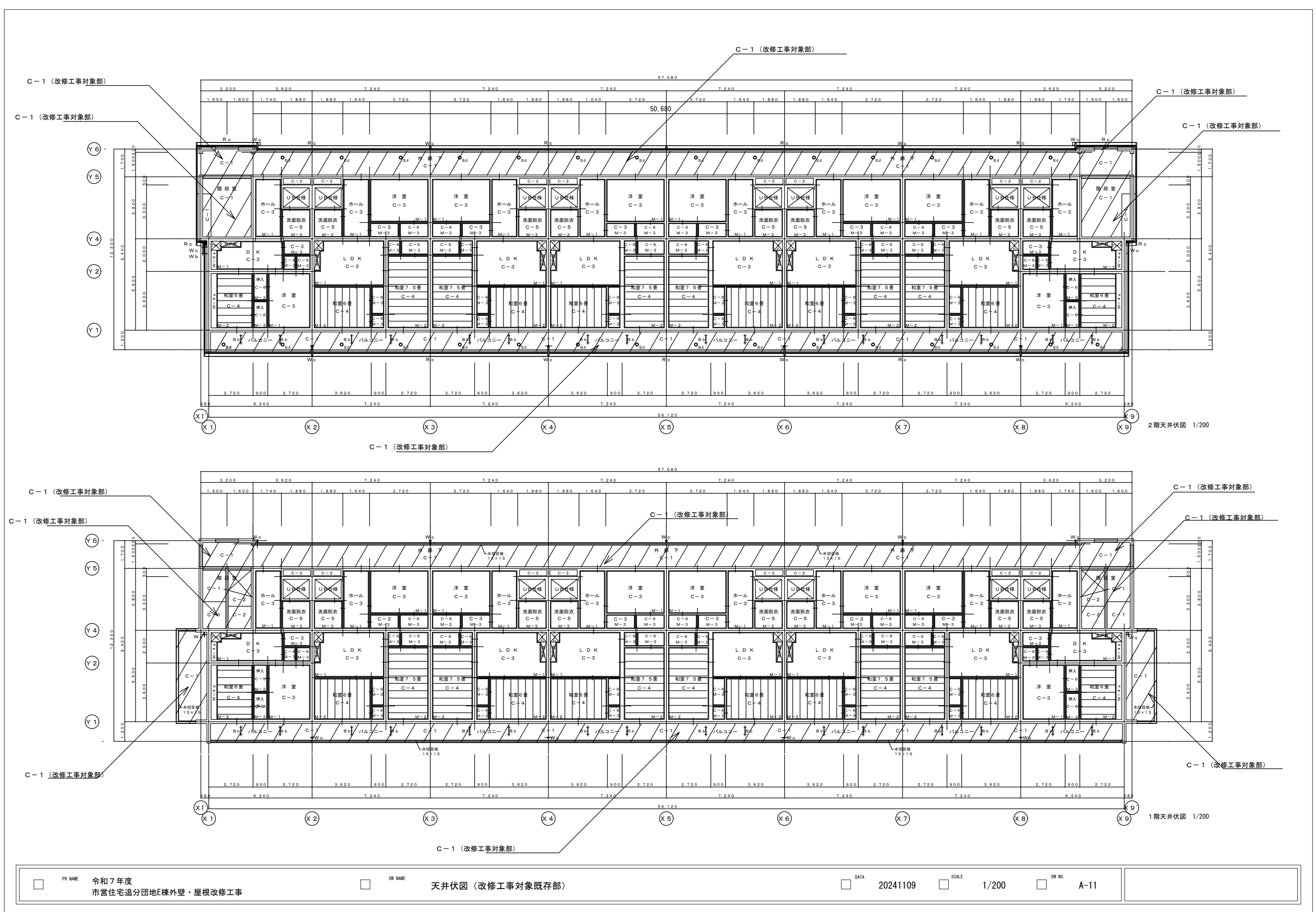


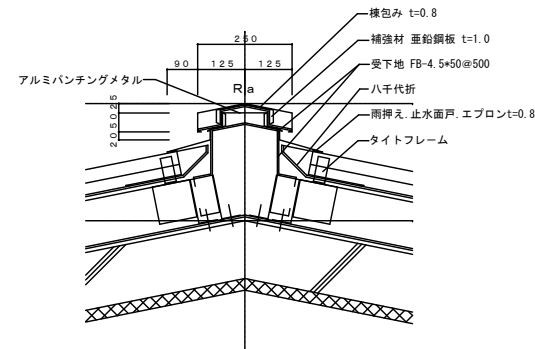
SCALE 1/200



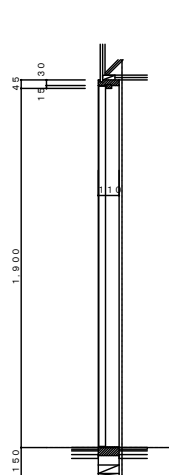
DW NO. A-09



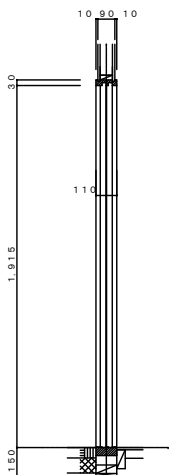




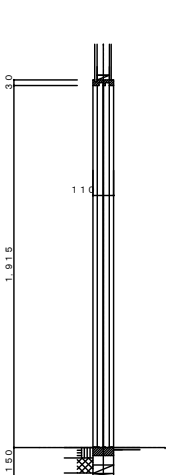
換気棟詳細図 S=1:20



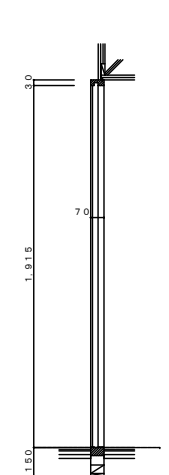
一般扉詳細図 S=1:40



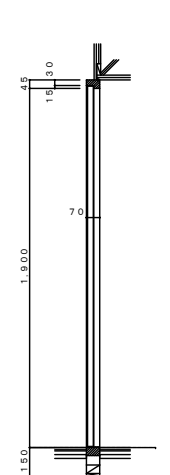
一般引違戸詳細図 S=1:40



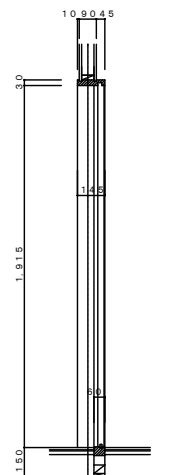
押入模詳細図 S=1:40



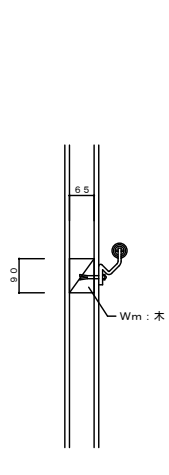
WD-1 O 詳細図 S=1:40



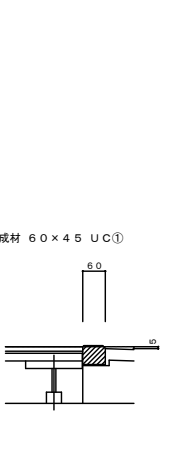
WD-1 3 詳細図 S=1:40



WD-2 詳細図 S=1:40

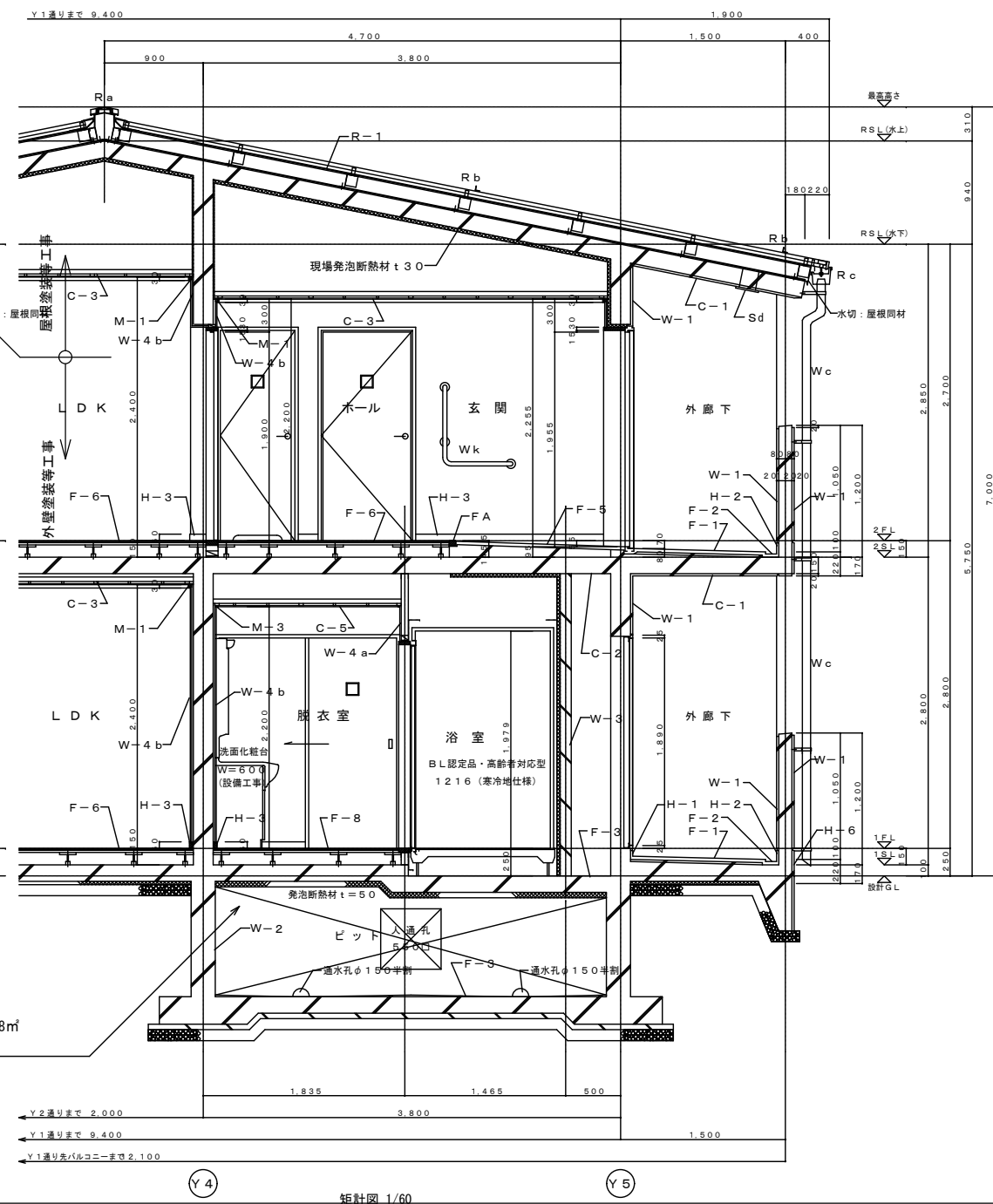
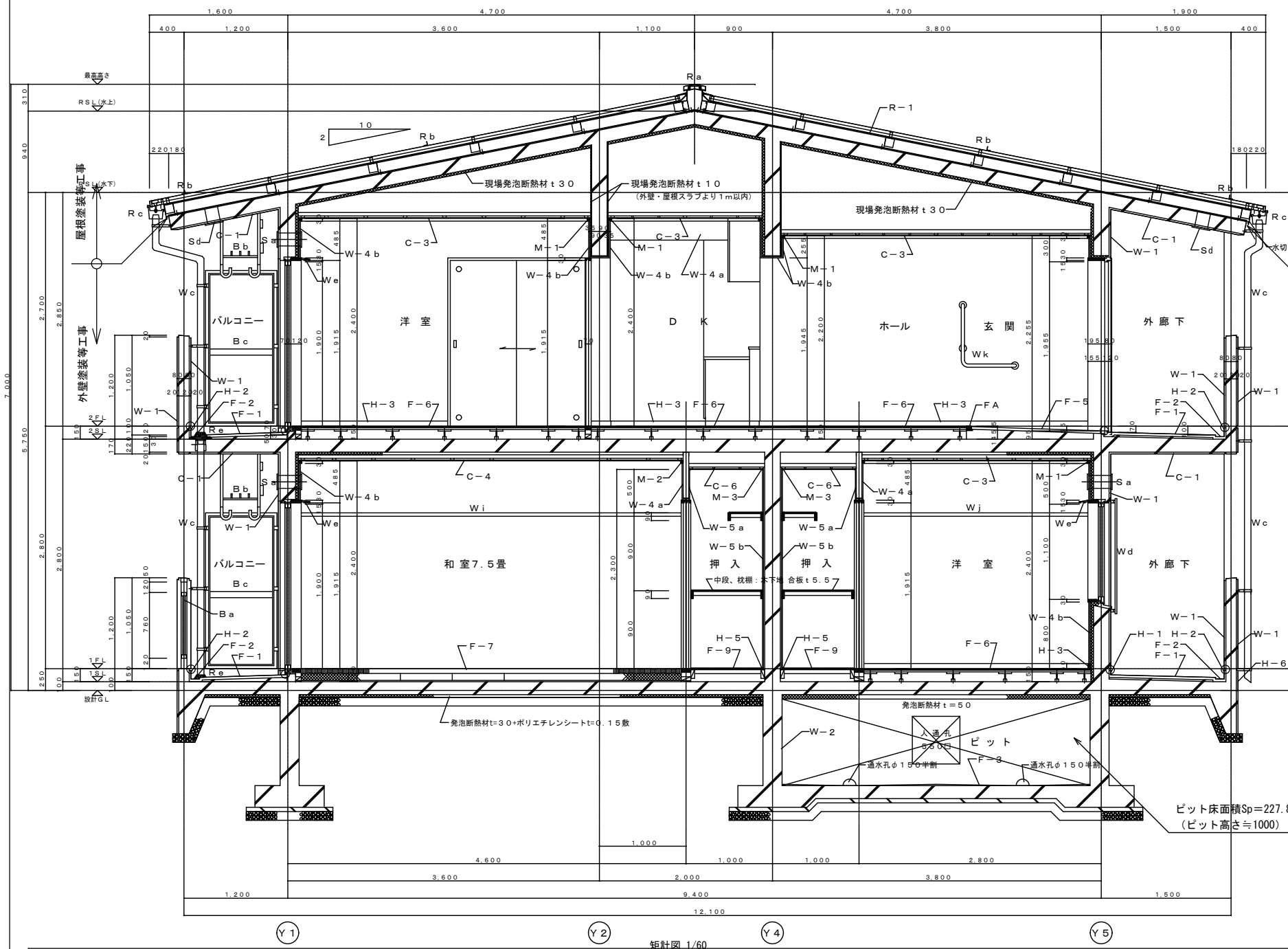


将来用手摺下地詳細図 S=1:10



上り框詳細図 S=1:10

- 凡 例
- Sa : 換気レジスターφ150
 - Sb : エアコン用スリーブ
(グラスウール充填
・キャップ兼用型)
 - Sc : FF用スリーブ
(グラスウール充填
・キャップ兼用型)
 - Sd : エアコン用インサート
@φ450 2本
 - We : カーテンレールW
 - Wf : ライニングトップSUS
 - Wg : ライニングトップ
ポストフォームt=19
 - Wh : アルミエッジ
 - Wi : 付け鴨居 木製CL
 - Wj : 付け鴨居 木製OSCL
 - Wk : 手摺L型600×700
 - Wl : 手摺L=600
 - Fa : 上框 集成材 UC①



矩計図 1/60

矩計図 1/60



令和7年度
市営住宅追分団地E棟外壁・屋根改修工事



矩計図 (屋根・外壁塗装工事範囲)



20241109

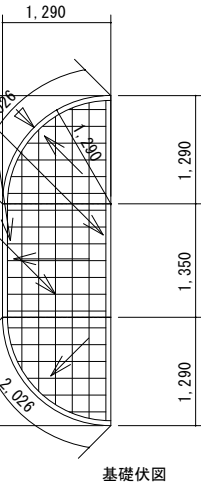
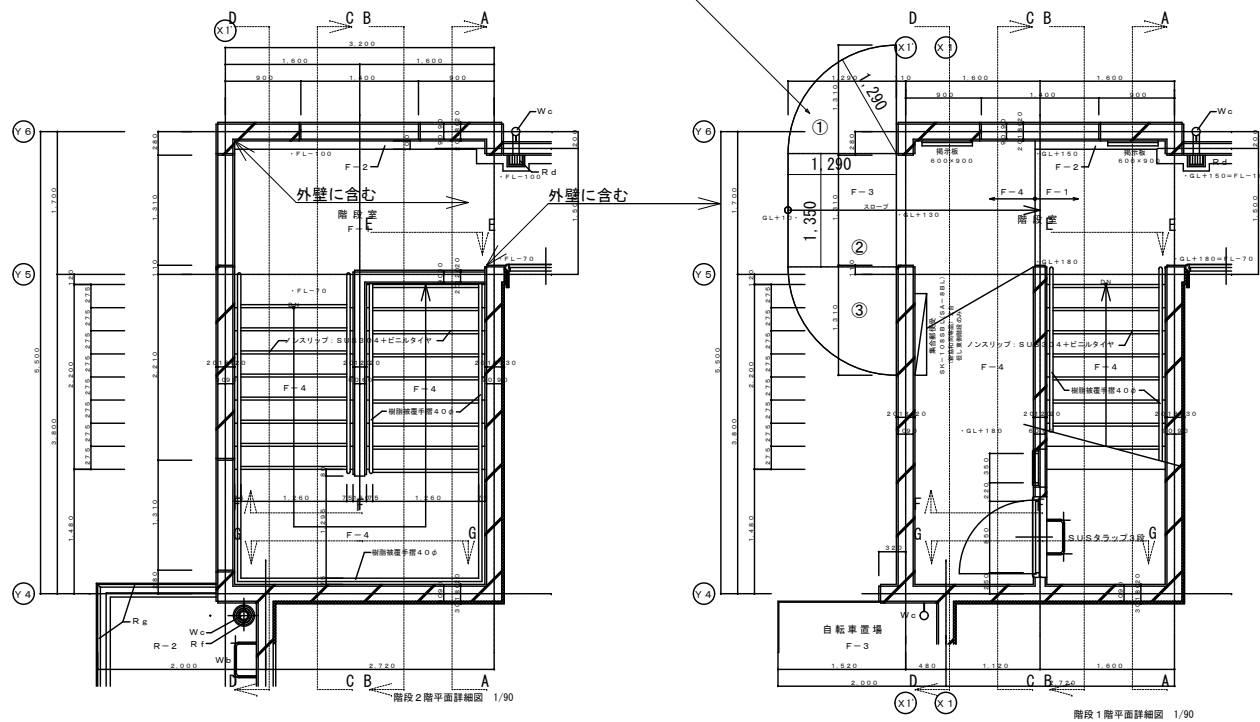


1/60
1/40・1/20

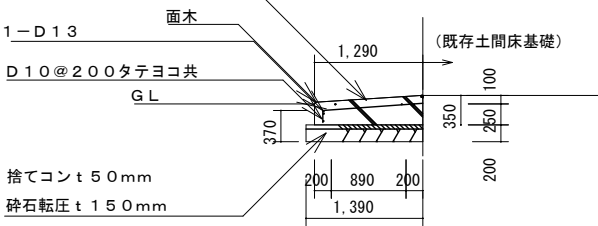


A-12

スロープ改修工事（2カ所）：
既存コンクリート研り撤去の上、新規コンクリートt=150打設の上、
高強度ウレタン塗膜防水 防滑仕上げ

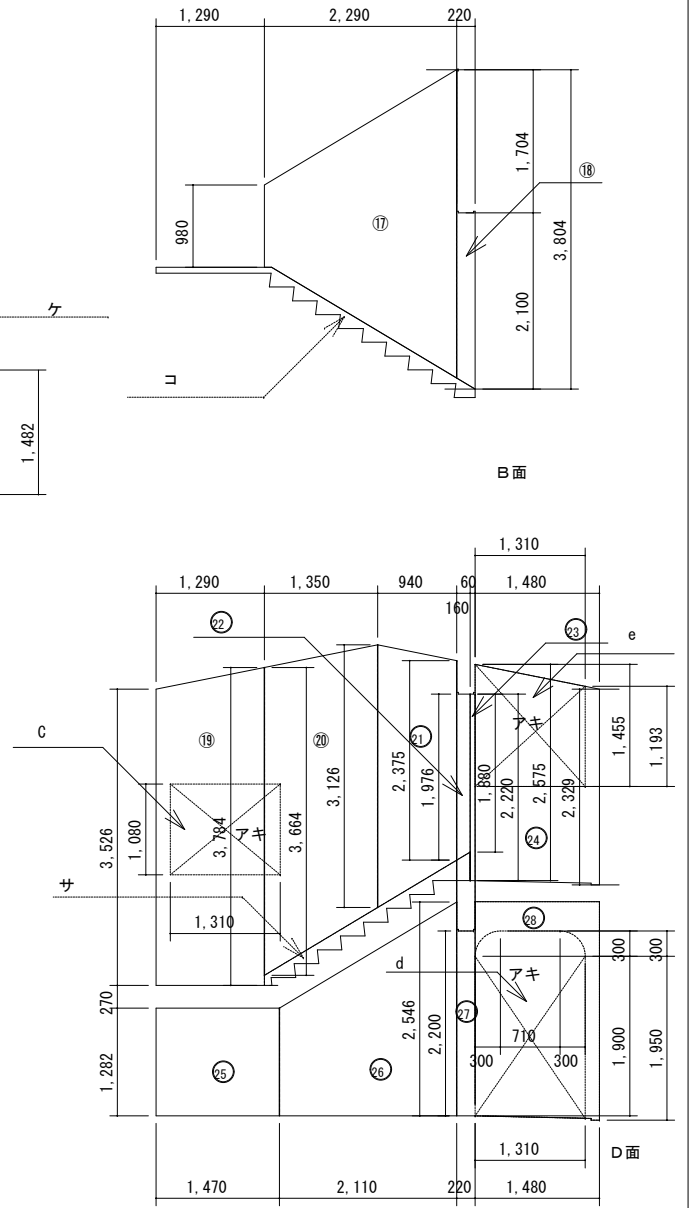
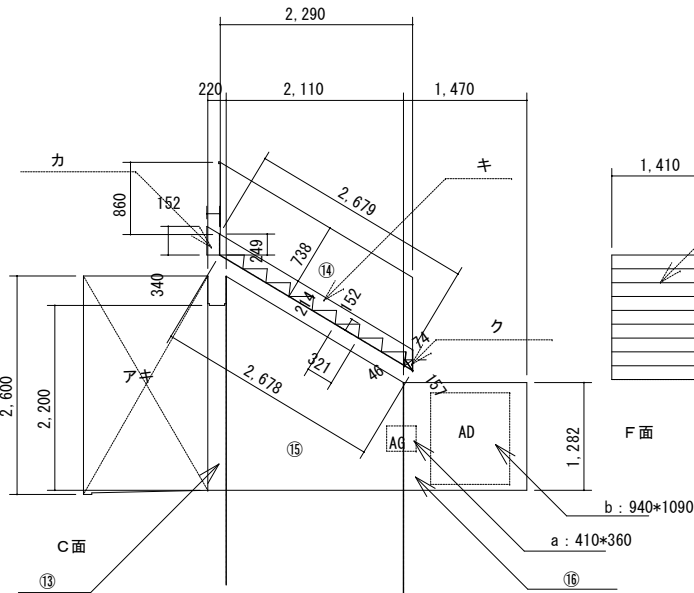


スロープ改修工事（2カ所）：
コンクリート（Fc18-18-25N）同時金ゴテ押えの上
高強度ウレタン塗膜防水仕上



出入口段差解消スロープ改修基礎図 S=1/90（建築工事）

基礎伏図



※ピット内換気工事



PR NAME 令和7年度
市営住宅追分団地E棟外壁・屋根改修工事



DW NAME 階段平面・断面図（工事施工範囲図）



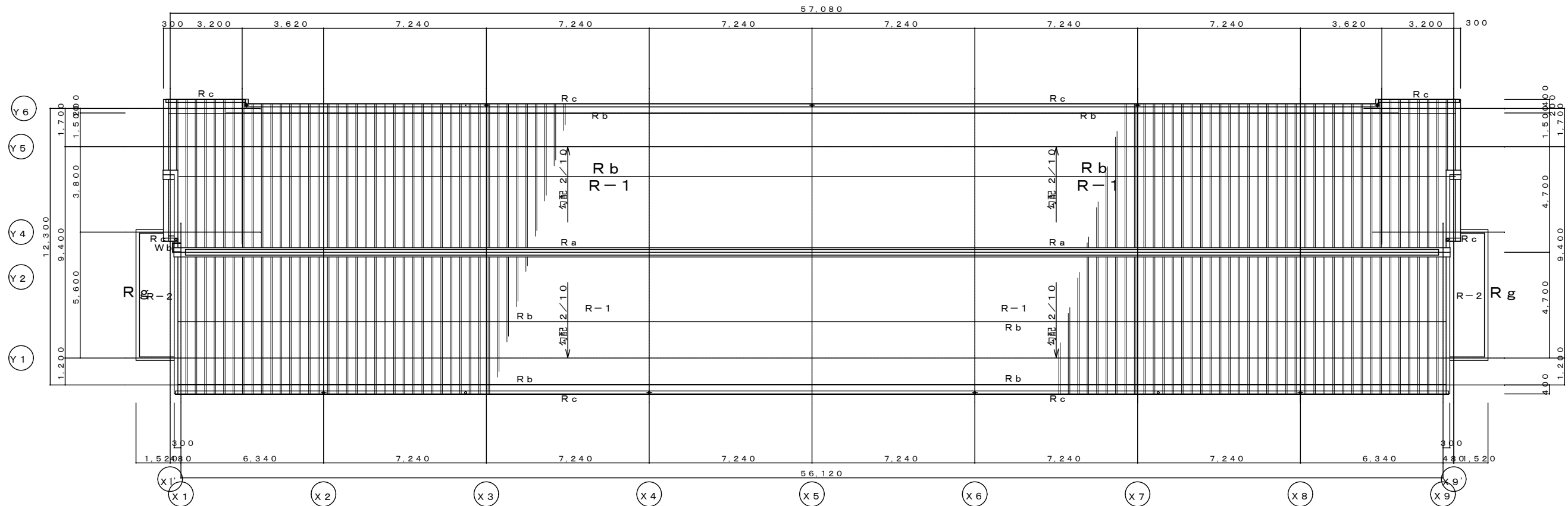
DATA 20241109



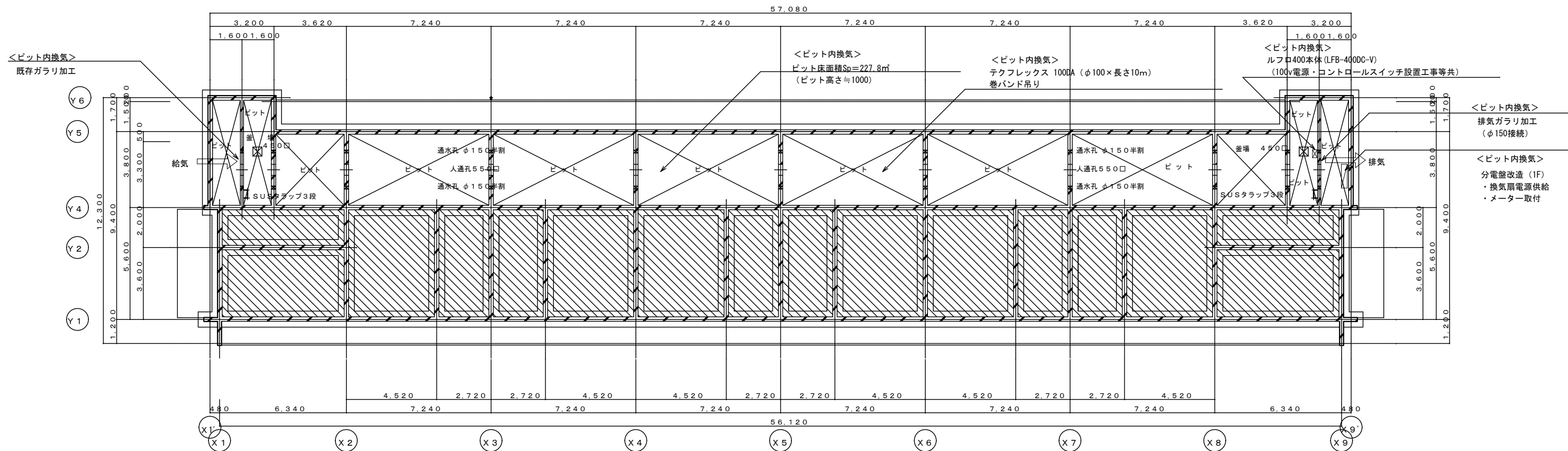
SCALE 1/90



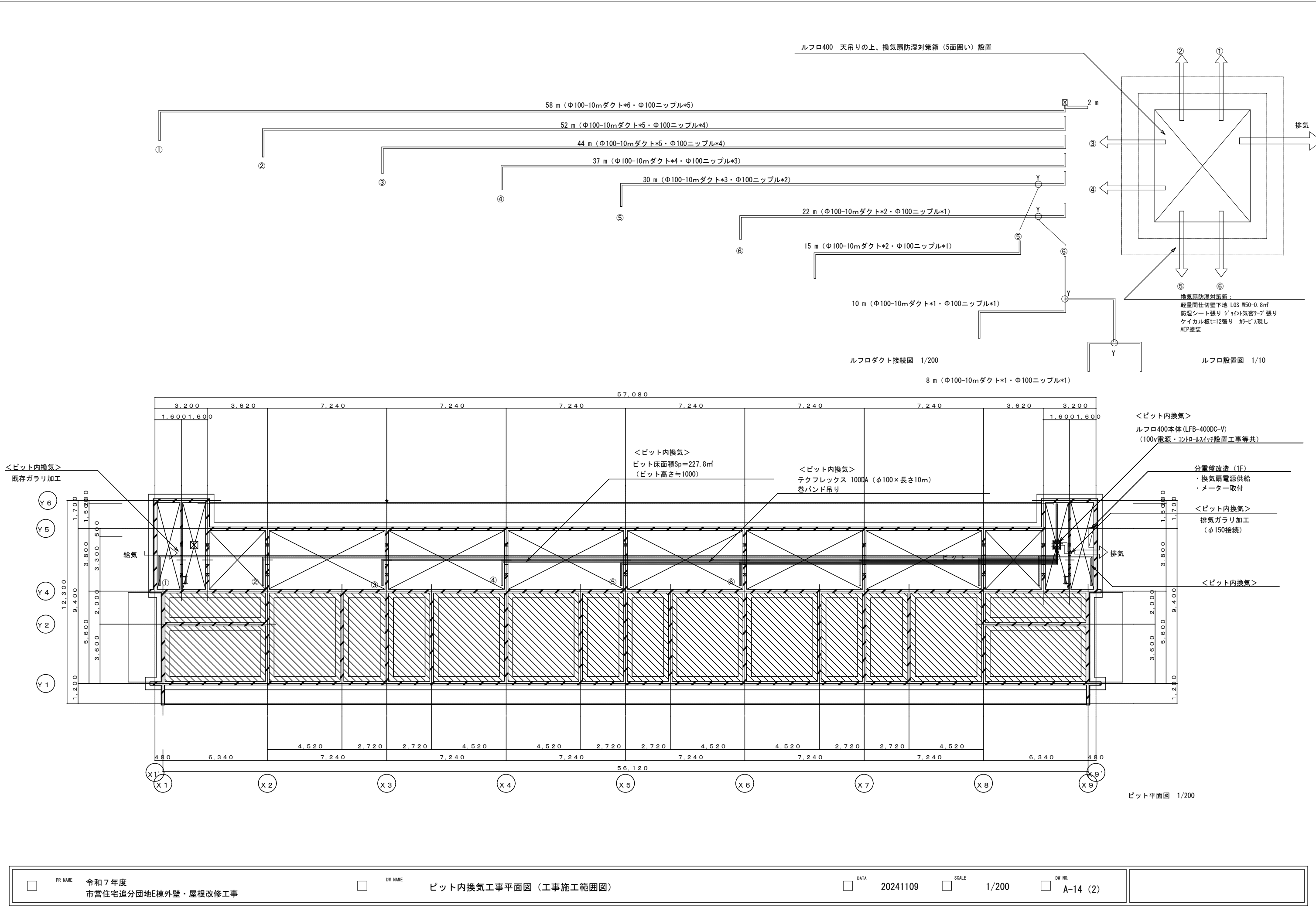
DW NO. A-13



屋根伏せ図 1/200



ピット平面図 1/200



ルフロ400 天吊りの上、換気扇防湿対策箱 (5面囲い) 設置

58 m (Φ100-10mダクト*6・Φ100ニッブル*5)

52 m (Φ100-10mダクト*5・Φ100ニッブル*4)

44 m (Φ100-10mダクト*5・Φ100ニッブル*4)

37 m (Φ100-10mダクト*4・Φ100ニッブル*3)

30 m (Φ100-10mダクト*3・Φ100ニッブル*2)

22 m (Φ100-10mダクト*2・Φ100ニッブル*1)

15 m (Φ100-10mダクト*2・Φ100ニッブル*1)

10 m (Φ100-10mダクト*1・Φ100ニッブル*1)

ルフロダクト接続図 1/200

8 m (Φ100-10mダクト*1・Φ100ニッブル*1)

ルフロ設置図 1/10

換気扇防湿対策箱:
軽量間仕切壁下地 LGS W50-0.8㎡
防湿シート張り ジョイント気密テープ張り
ケイカル板t=12張り 防びス現し
AEP塗装

<ピット内換気>
既存ガラリ加工

<ピット内換気>
ピット床面積Sp=227.8㎡
(ピット高さ≒1000)

<ピット内換気>
テクフレックス 1000A (φ100×長さ10m)
巻バンド吊り

<ピット内換気>
ルフロ400本体 (LFB-400DC-V)
(100v電源・コントロールスイッチ設置工事等共)

分電盤改造 (1F)
・換気扇電源供給
・メーター取付

<ピット内換気>
排気ガラリ加工
(φ150接続)

<ピット内換気>

ピット平面図 1/200



PR NAME

令和7年度
市営住宅追分団地E棟外壁・屋根改修工事



DW NAME

ピット内換気工事平面図 (工事施工範囲図)



DATA

20241109



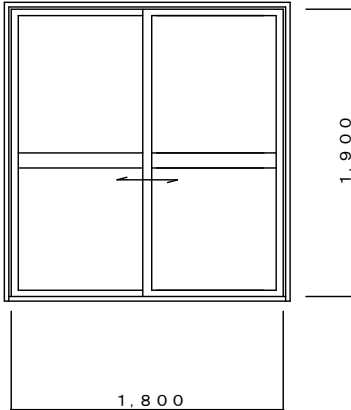
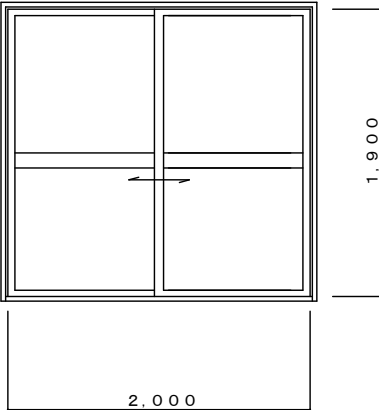
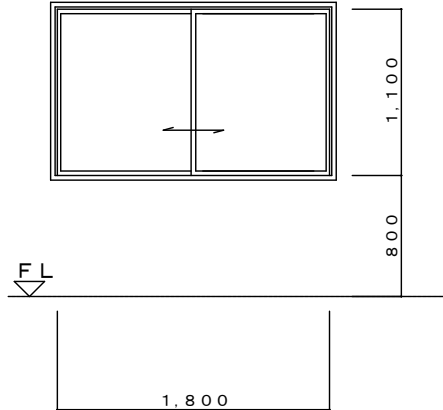
SCALE

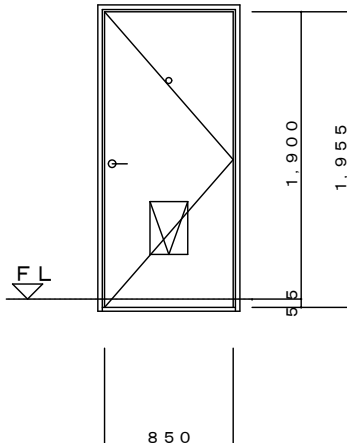
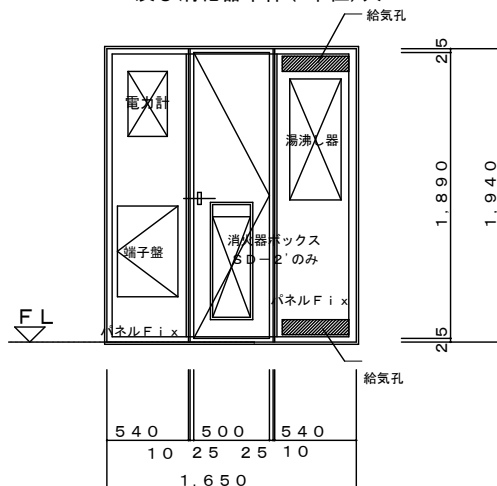
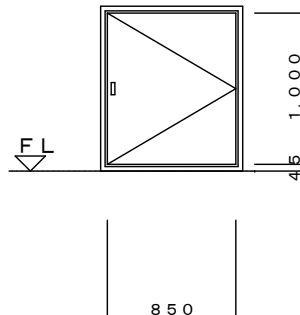
1/200



DW NO.

A-14 (2)

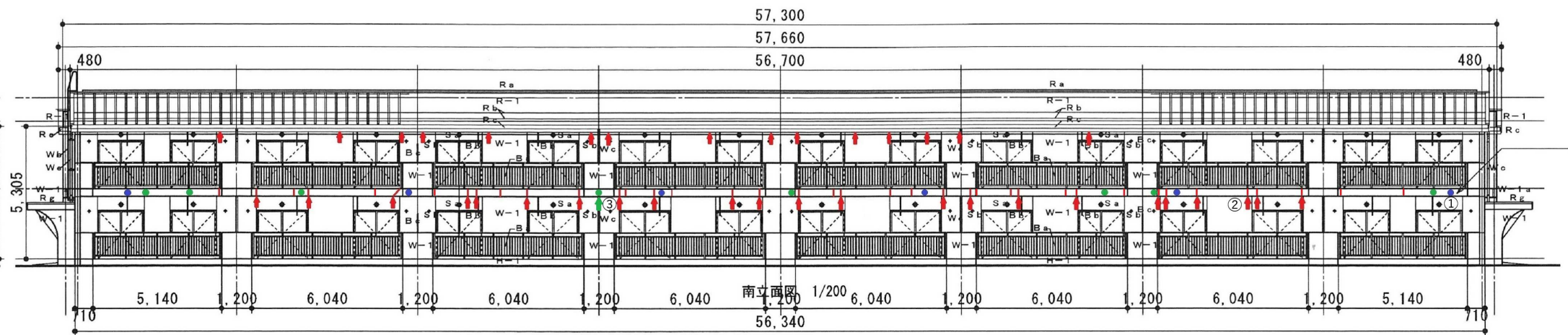
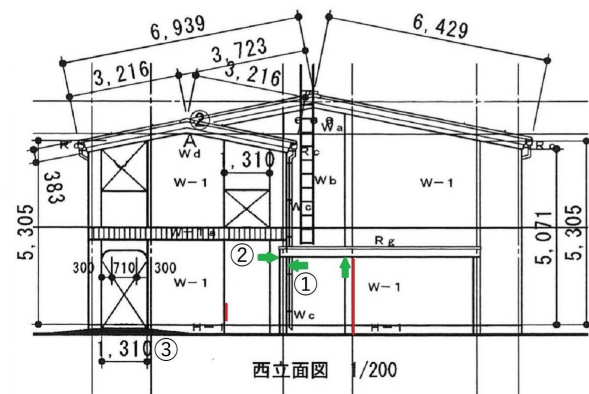
記号・形式		AW-1	引き違いテラス窓	AW-2	引き違いテラス窓	AW-3	引き違い窓
位置・数量		2DK・3LDK20ヶ所		3LDK12ヶ所		3LDK12ヶ所	
形状・寸法							
仕上枠 見込扉		アルミアルマイト シルバー仕上げ70		アルミアルマイト シルバー仕上げ70		アルミアルマイト シルバー仕上げ70	
		アルミアルマイト シルバー仕上げ—		アルミアルマイト シルバー仕上げ—		アルミアルマイト シルバー仕上げ—	
硝子		FL3+A6+FL3		FL3+A6+FL3		網入型板6.8+A6+型4	
金物		引手・戸車・クレセント(ロック機構付)		引手・戸車・クレセント(ロック機構付)		引手・戸車・クレセント(ロック機構付)	
		アルミアングル・結露受け		アルミアングル・結露受け		アルミアングル・結露受け・外部アルミ面格子	
備考		その他付属金物一式SUS網戸付		その他付属金物一式SUS網戸付		その他付属金物一式SUS網戸付	

記号・形式		S D－1		片 開 き 扉		S D－2・2′		P S 点 検 扉		S D－3		ピ ッ ト 点 検 扉	
位置・数量		各 住 戸 玄 関		1 6 ヶ 所		各 住 戸 P S		S D－2 8 ヶ 所 ・ 2′ 8 ヶ 所		階 段 室		2 ヶ 所	
形状・寸法						※S D－2′は消火器ボックス付 及び消化器本体(3単位)共 							
仕 上 枠 見 込 扉		垂鉛メッキ鋼板 t 1.6 S O P		8 0		垂鉛メッキ鋼板 t 1.6 S O P		3 0		垂鉛メッキ鋼板 t 1.6 S O P		8 0	
		化粧鋼板 t 0.8		3 6		化粧鋼板 t 0.8		2 5		垂鉛メッキ鋼板 t 0.8 S O P		3 0	
硝 子		－				給気孔－S U Sパンチングメタル				－			
金 物		電気錠にレバーハンドル・サムターン取付				軸吊丁番・点検口錠・アオリ止				軸吊丁番・点検口錠・アオリ止			
		丁番・ドアチェック・ドアガード・スコープ				裏補強アングル・角パイプ・パネル開口補強							
備 考		その他付属金物一式 断熱材充填 郵便受箱付				その他付属金物一式 設備機器取合い有り				その他付属金物一式 設備機器取合い有り			

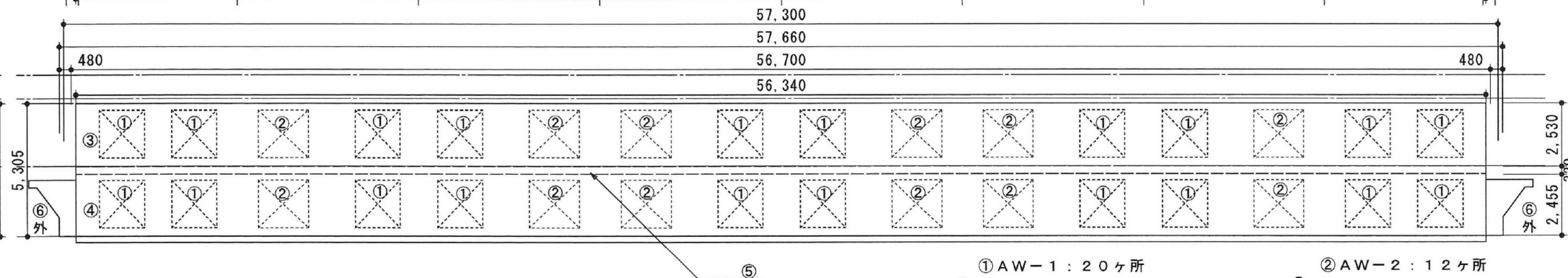
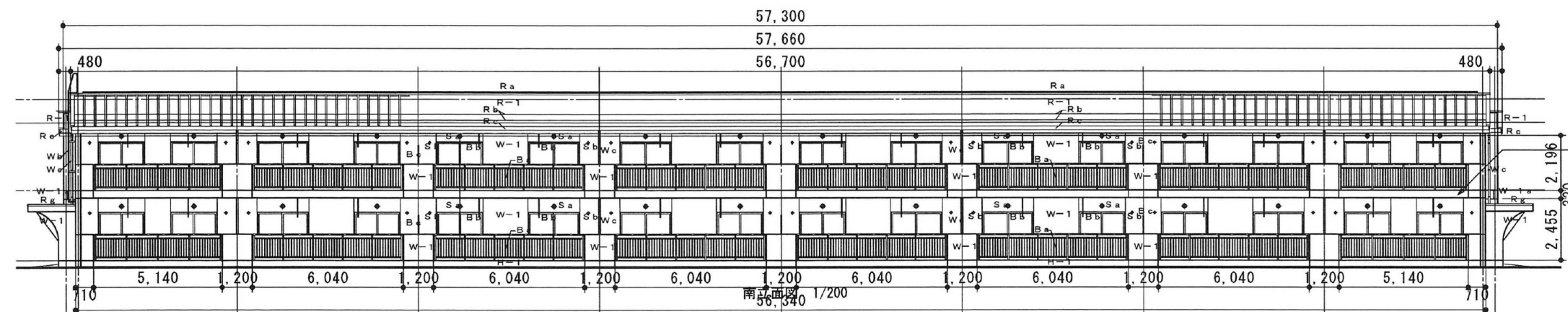
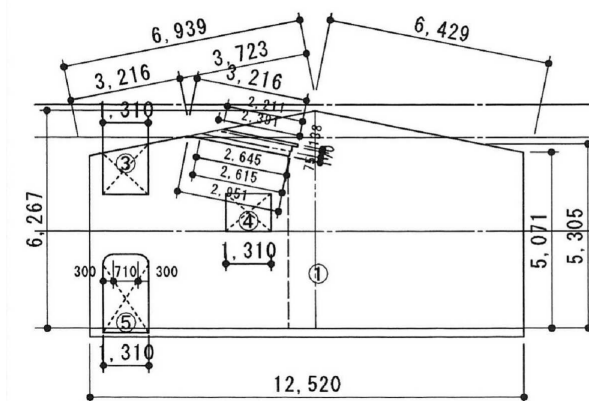
安曇野市営住宅追分団E棟 下地補修明細

E棟										
	東 面	西 面	南 面	北 面	北 面	北 面	合 計		調査結果からの 合計数量	
				外壁	手摺り内側	手摺り外側				
ひび割れ 外壁	2.10	3.00	55.35	78.70			139.15	m	261.10	m
ひび割れ 手摺り内壁					56.50		56.50	m		
ひび割れ 手摺り外壁						65.40	65.40	m		
天端0.1						3.50	3.50	m	3.50	m
欠 損	1	—	6	—	1	8	16	箇所	35	箇所
鉄筋腐食	—	—	—	—	—	—	0	箇所		
塗膜の浮き、剥がれ	2	3	9	—	—	5	19	箇所		

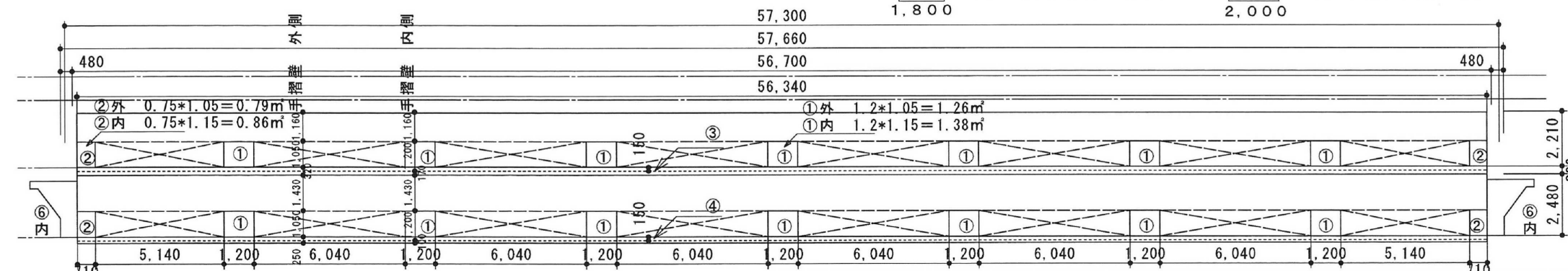
ひび割れ部集計表																						
外 壁												北面手摺内側・外側				北面手摺内側・外側（＋天端0.1）						
東面	数量 (m)	西面	数量 (m)	南面	数量 (m)	南面	数量 (m)	北面	数量 (m)	北面軒天	数量 (m)	北面 手摺り壁 内側	数量 (m)	北面 手摺り 壁外側	数量 (m)	北面 手摺り壁 内側	数量 (m)	北面 手摺り 壁外側	数量 (m)			
1F	0.6	1F	0.4	2F	0.25	1F	1.2	1F	0.4	1F	1.5	1F	1.3	1F	1.5	1F	1.3	1F	1.6			
床面	1.5	床面	0.6		0.25	軒天	1.2		0.3	軒天	1.5		1.3		0.9		1.3		0.9			
					0.25		1.2		0.7		1.5		1.3		1.5		1.3		1.6			
					0.25		1.2		0.5		1.5		1.3		1.5		1.3		1.6			
					0.25		1.2		0.7		1.5		1.3		1.5		1.3		1.6			
					0.25		1.2		0.2		1.5		1.3		1.5		1.3		1.6			
					0.25		1.2		0.5		1.5		1.3		1.5		1.3		1.5			
					0.25		1.2		0.5		1.5		1.3		1.5		1.3		1.5			
					0.25		1.2		0.5		1.5		1.3		1.5		1.3		1.5			
					0.25		1.2		0.2		1.5		1.3		1.5		1.3		1.5			
					0.25		1.2		0.2		1.5		1.3		1.5		1.3		1.6			
					0.25		1.2		0.4		1.5		1.3		1.5		1.3		1.6			
					0.25		1.2		0.5		1.5		1.3		1.5		1.3		1.6			
					0.25		1.2		0.7		1.5		1.3		1.5		1.3		1.6			
					0.25		1.2		1.1		1.5		1.3		1.5		1.3		1.6			
					0.25		1.2		0.5		1.5		1.3		1.5		1.3		1.6			
					0.25		1.2		0.7		1.5		1.3		1.5		1.3		1.5			
					0.25		1.2		0.7		1.5		1.3		1.5		1.3		1.5			
					0.25		1.2		0.3		1.5		1.3		1.5		1.3		1.6			
					0.25		1.2		0.4		1.5		1.3		1.5		1.3		1.6			
					0.25		1.2		0.5		1.5		1.3		0.6		1.5		0.6	1.6		
					0.25		1.2		0.4		1.5		1.5		1.3		1.5		1.3	1.6		
					0.25		1.2		0.5		1.5		1.5		1.3		1.3		1.3	1.6		
					0.25		1.2		0.5		1.5		1.5		1.3		1.3	2F	1.5	1.3	2F	1.5
					0.25		1.2		0.5	2F軒天	1.2		0.5		1.5		1.3		1.5	1.3		1.6
					0.25		1.2		0.8		1.2		0.8		1.5				1.5			1.6
					0.25		1.2		0.7		1.2		0.7		1.5	2F	1.3		1.5	2F	1.3	1.6
					0.25		1.2		1.3		1.2		1.3		1.5		1.3		1.5		1.3	1.6
					0.25		1.2		0.8		1.2		0.8		1.5		1.3		1.5		1.3	1.6
					0.25		1.2		1.2		1.2		1.2		1.3		1.3		1.5		1.3	1.6
					0.25		1.2		1.2		1.2	2F	0.3	2F	1.6		1.3		1.5		1.3	1.6
					0.25		1.2		1.2		1.2		0.4	軒天	1.6		1.3		1.5		1.3	1.6
					0.25		1.2		1.2		1.2		0.7		1.6		1.3		1.5		1.3	1.6
	0.25		1.2		1.2		1.2		0.7		1.6		1.3		1.5		1.3	1.6				
	0.25		1.2		1.2		1.2		0.4		1.6		1.3		1.5		1.3	1.6				
	0.25		1.2		1.2		1.2		0.5		1.6		1.3		1.5		1.3	1.6				
	0.25		1.2		1.2		1.2		0.2		1.6		1.3		1.5		1.3	1.6				
	0.25		1.2		1.2		1.2		0.2		1.6		1.3		1.5		1.3	1.6				
	0.25		1.2		1.2		1.2		0.2		1.6		1.3		1.5		1.3	1.6				
									0.2				1.3		1.5		1.3		1.6			
									0.8				1.3		1.5		1.3		1.6			
									0.2				1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			
													1.3		1.5		1.3		1.6			

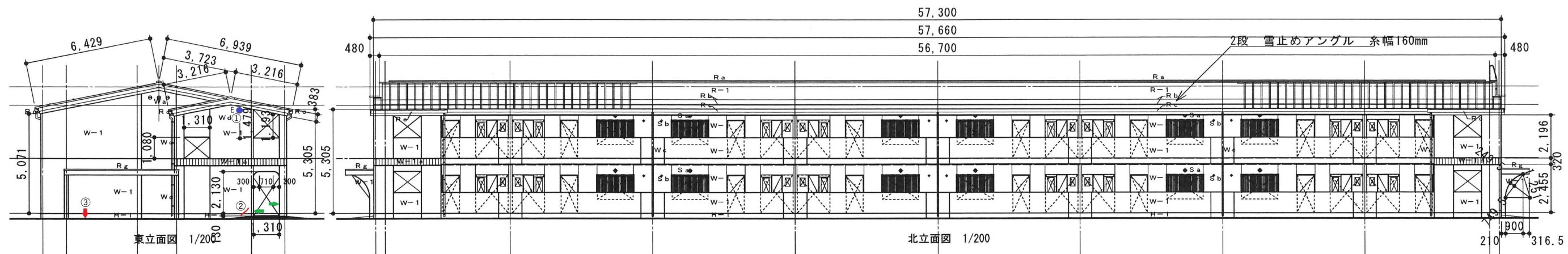


凡 例	
	ひび割れ発生部
	欠損部
	塗膜剥離部
①	写真No.

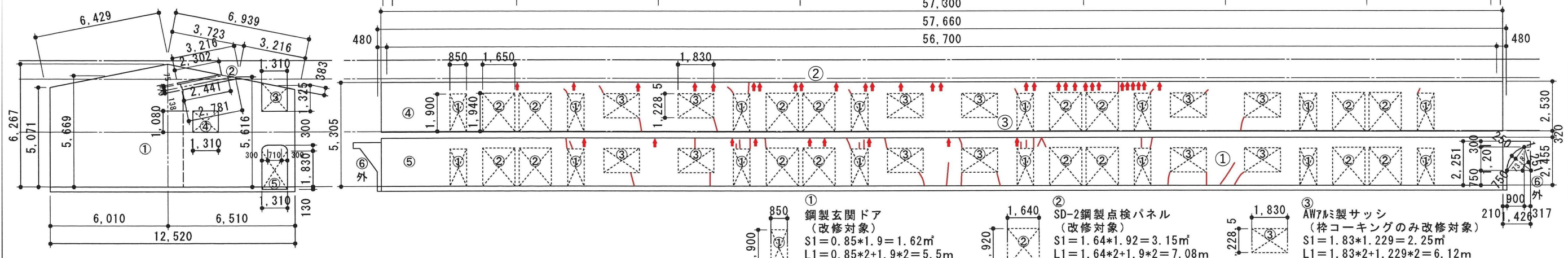


① AW-1 : 20ヶ所 AW7製サッシ (枠コーキングのみ改修対象) S1=1.8*1.9=3.42㎡ L1=1.8*2+1.9*2=7.4m	② AW-2 : 12ヶ所 AW7製サッシ (枠コーキングのみ改修対象) S1=2.0*1.9=3.80㎡ L1=2.0*2+1.9*2=7.8m
---	---

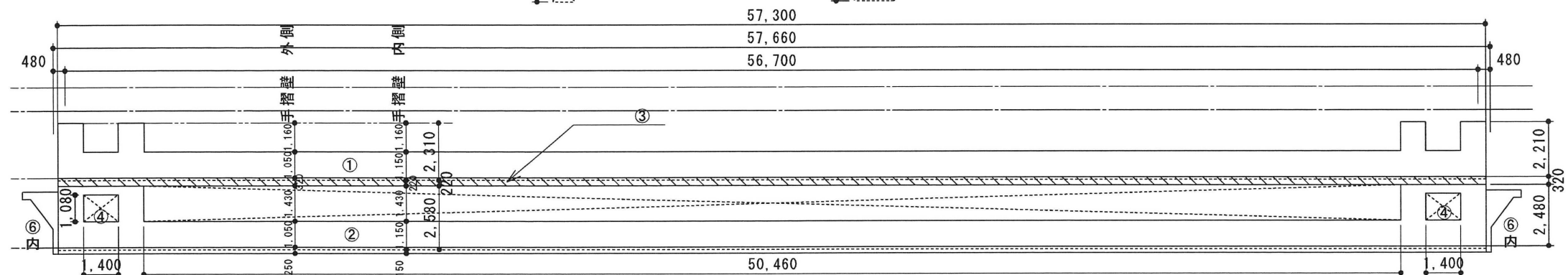


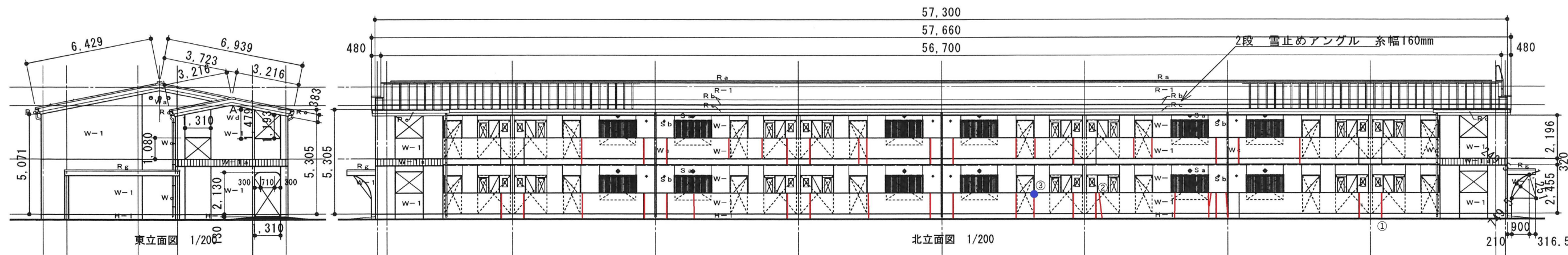


凡 例	
	ひび割れ発生部
	欠損部
	塗膜剥離部
	写真No.

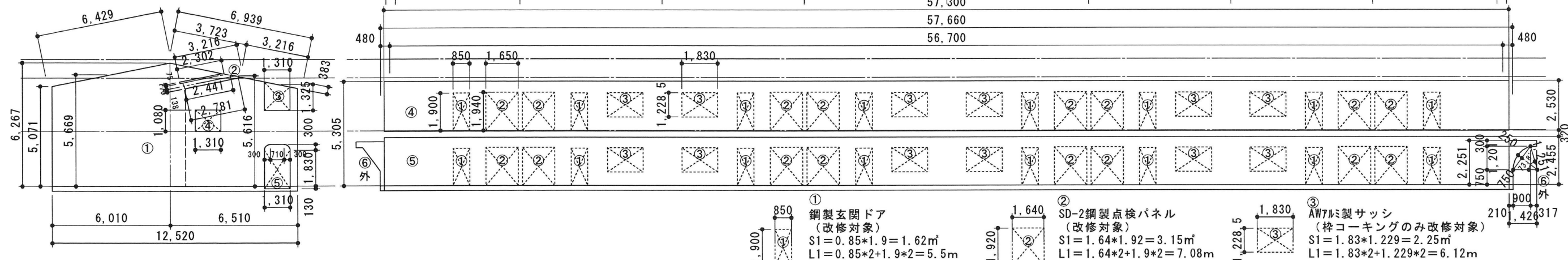


- ① 鋼製玄関ドア (改修対象)
 $S1 = 0.85 \times 1.9 = 1.62\text{m}^2$
 $L1 = 0.85 \times 2 + 1.9 \times 2 = 5.5\text{m}$
- ② SD-2鋼製点検パネル (改修対象)
 $S1 = 1.64 \times 1.92 = 3.15\text{m}^2$
 $L1 = 1.64 \times 2 + 1.9 \times 2 = 7.08\text{m}$
- ③ AW7L製サッシ (枠コーキングのみ改修対象)
 $S1 = 1.83 \times 1.229 = 2.25\text{m}^2$
 $L1 = 1.83 \times 2 + 1.229 \times 2 = 6.12\text{m}$

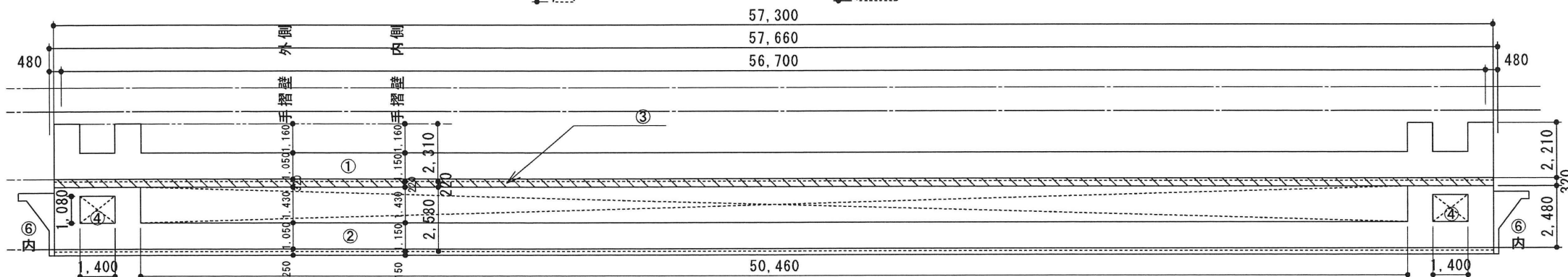




凡 例	
	ひび割れ発生部
	欠損部
	塗膜剥離部
①	写真 №



- ① 鋼製玄関ドア (改修対象)
S1=0.85*1.9=1.62㎡
L1=0.85*2+1.9*2=5.5m
- ② SD-2鋼製点検パネル (改修対象)
S1=1.64*1.92=3.15㎡
L1=1.64*2+1.9*2=7.08m
- ③ AW7M製サッシ (枠コーキングのみ改修対象)
S1=1.83*1.229=2.25㎡
L1=1.83*2+1.229*2=6.12m



PR NAME 令和7年度
市営住宅追分団地E棟外壁・屋根改修工事



DW NAME 北面通路手摺り壁、内側ひび割れ位置図



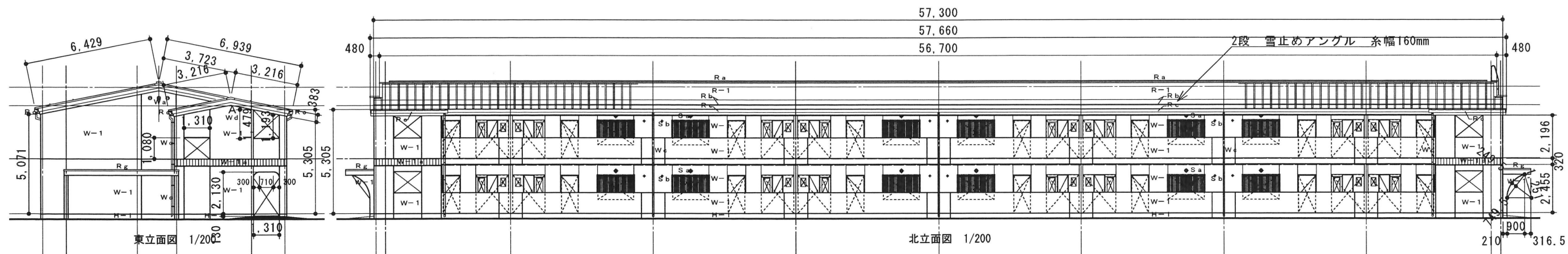
DATA 20241109



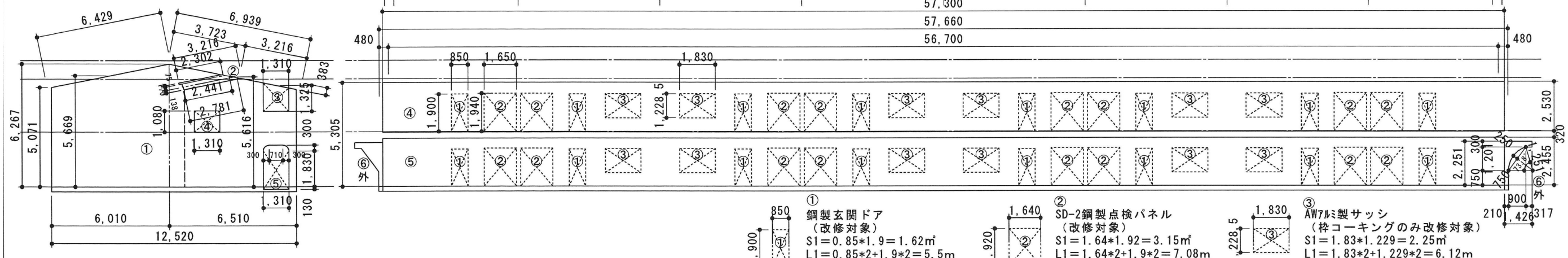
SCALE 1/200



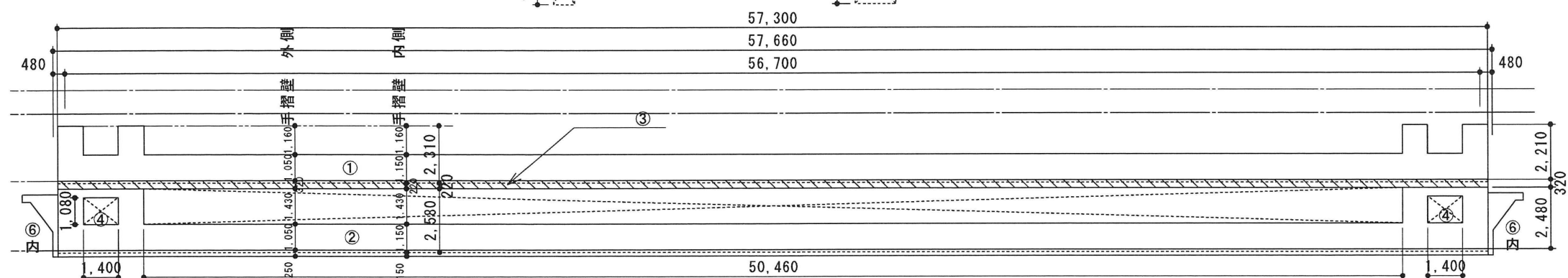
DW NO. A-20



凡 例	
	ひび割れ発生部
	欠損部
	塗膜剥離部
①	写真No



- ① 鋼製玄関ドア (改修対象)
S1=0.85*1.9=1.62㎡
L1=0.85*2+1.9*2=5.5m
- ② SD-2鋼製点検パネル (改修対象)
S1=1.64*1.92=3.15㎡
L1=1.64*2+1.9*2=7.08m
- ③ AW7L製サッシ (枠コーキングのみ改修対象)
S1=1.83*1.229=2.25㎡
L1=1.83*2+1.229*2=6.12m



PR NAME 令和7年度
市営住宅追分団地E棟外壁・屋根改修工事



DW NAME 北面通路手摺り壁、外側ひび割れ位置図



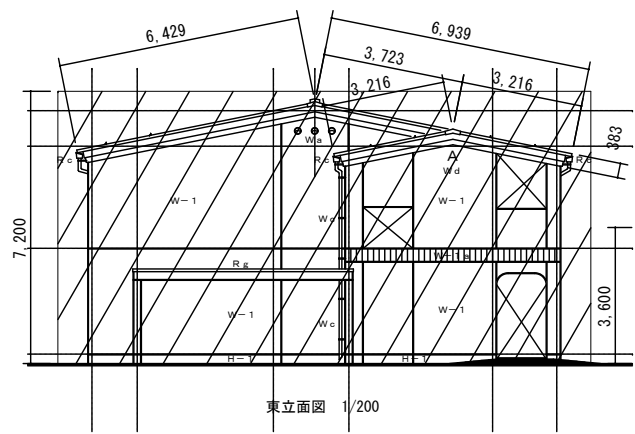
DATA 20241109



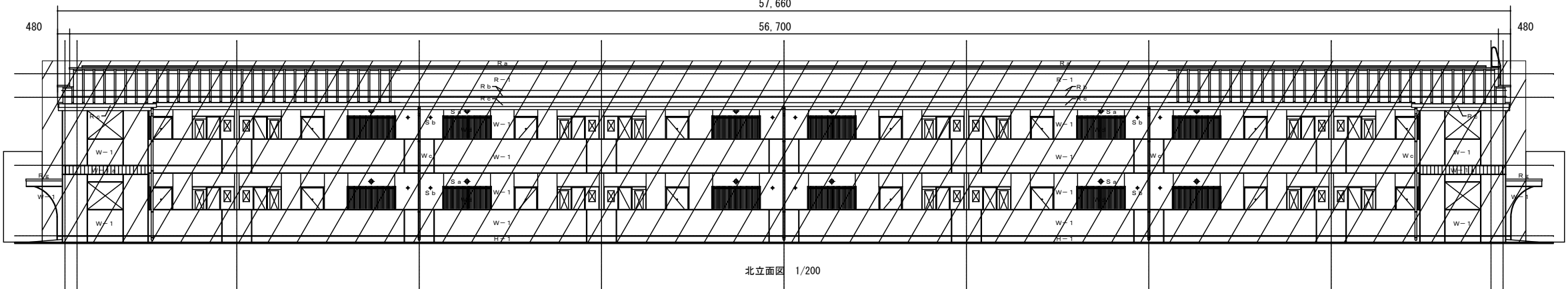
SCALE 1/200



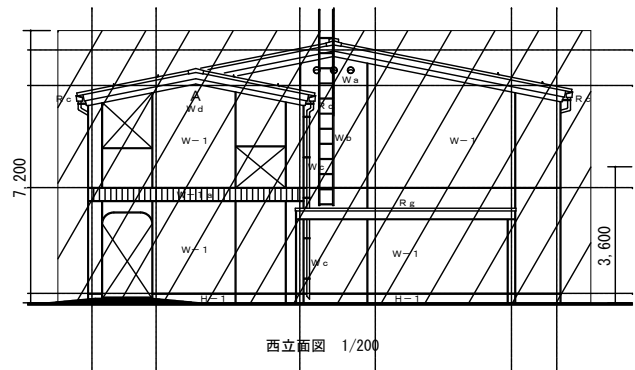
DW NO. A-20



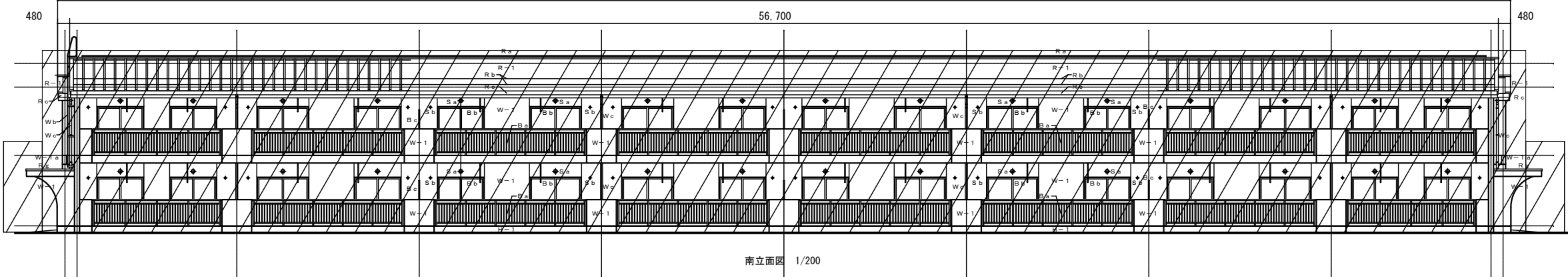
東立面図 1/200



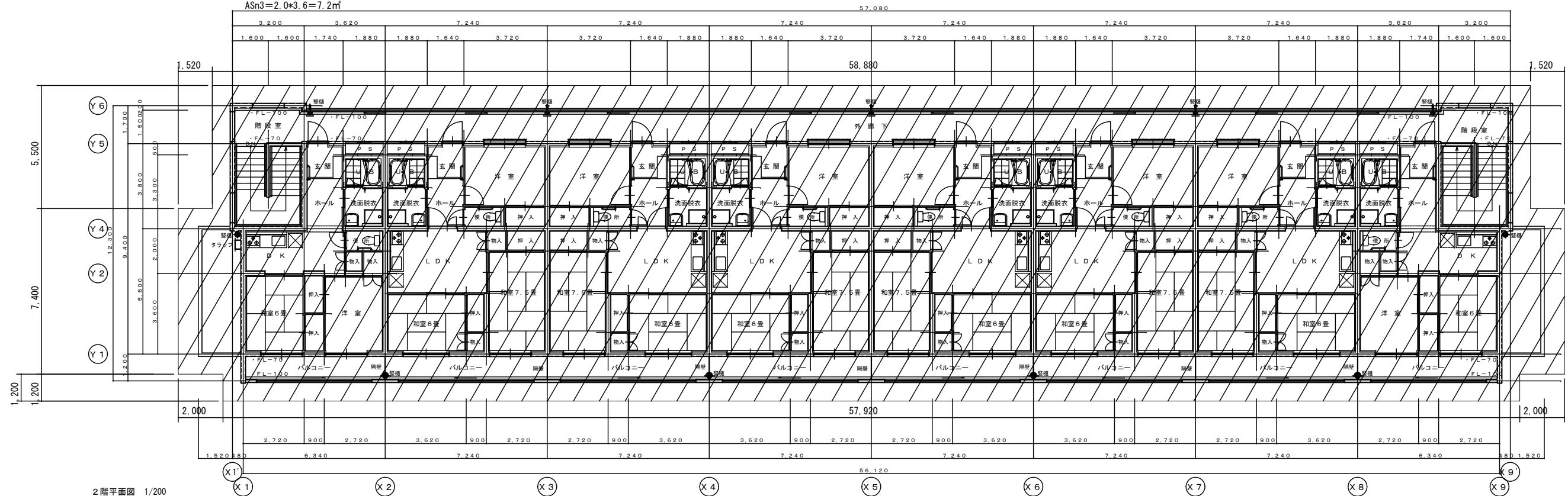
北立面図 1/200



西立面図 1/200



南立面図 1/200



2階平面図 1/200



PR NAME 令和7年度
市営住宅追分団地E棟外壁・屋根改修工事



DW NAME 足場養生図



DATA 20241109



SCALE 1/200



DW NO. A-21

廊下灯LED非常灯専用型 取替
CL
既存外廊下軒天照明 → 新規LED軒天照明 (本体1F・2F外廊下 計4台 : XWG201AGNC 同等)
BL
既存階段ブラケット照明 → 新規LEDブラケット照明 (本体階段踊り場 計2台 : EL-LF-VH2161 + 階数表示板 同等)
廊下灯LED器具 取替
既存外廊下軒天照明 → 新規LED軒天照明 (本体1F・2F外廊下 計8台 + 自転車置き場 計4台 : XLW212AELZ LE9 同等)

新規LED器具取替 2F計4台
(改修工事対象部)

廊下灯LED非常灯専用型 取替 2F計2台

LED非常照明器具取替 計2台
(改修工事対象部)

2階天井伏図 1/200

廊下灯LED非常灯専用型 取替 1F計2台

新規外灯LED器具取替 計2台
(改修工事対象部)
ブラケット照明人感センサー付き
LGW85275U 同等 (既存撤去処分)

新規LED器具取替 1F計4台
(改修工事対象部)

新規LED器具取替 駐輪場東計2台
(改修工事対象部)

新規LED器具取替 駐輪場西計2台
(改修工事対象部)

1階天井伏図 1/200



PR NAME 令和7年度
市営住宅追分団地E棟外壁・屋根改修工事



DW NAME 電気照明器具取替位置図 (改修工事対象部)



DATA 20241109



SCALE 1/200



DW NO. E-02